

令和5年  
室蘭市男女平等参画に関する  
市民アンケート結果報告書



なくそう「男だから、女だから」

室蘭市教育委員会

# 目 次

①アンケートについて	・・・	1
②調査結果		
I.回答者の特性	・・・	2
II.就労について	・・・	5
III.家庭生活について	・・・	18
IV.人権について	・・・	26
V.男女平等参画社会の実現について	・・・	39
男女平等についての意見	・・・	51
まとめ	・・・	54
③参考資料		
集計表		
調査表		

## 1.調査の目的

この度の調査は、男女平等参画に関する市民の皆さまの意識や生活実態を把握し、2014年度から施行している第2次室蘭市男女平等参画基本計画見直しの基礎資料とするために実施したものです。

## 2.調査項目

- I 回答者の特性
- II 就労について
- III 家庭生活について
- IV 人権について
- V 男女平等参画社会の実現について

## 3.調査設計

- (1) 調査対象 室蘭市に居住する16歳以上の男女
- (2) 調査数 1500人（男性716人、女性784人）
- (3) 調査方法 郵送
- (4) 調査期間 令和5年2月1日～令和5年2月10日
- (5) 抽出方法 無作為層化抽出（男女比、年齢比）
- (6) 調査基準日 令和5年1月1日

## 4.回収結果

	配布数	回収数	回収率
全体	1500	417	27.8
男性	716	190	26.5
女性	784	226	28.8

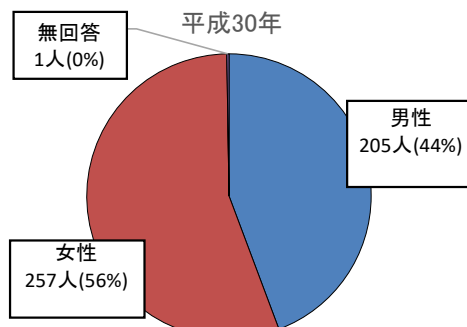
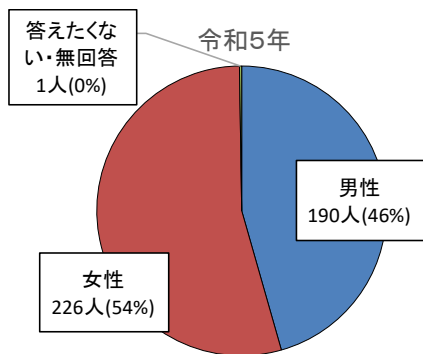
## 5.実施機関

アンケートの作成・結果報告について室蘭市男女平等参画推進市民会議からご意見をいただくなど、協働で実施いたしました。

※その他の内容・意見・要望は、原文のまま掲載しています。

# I 回答者の特性

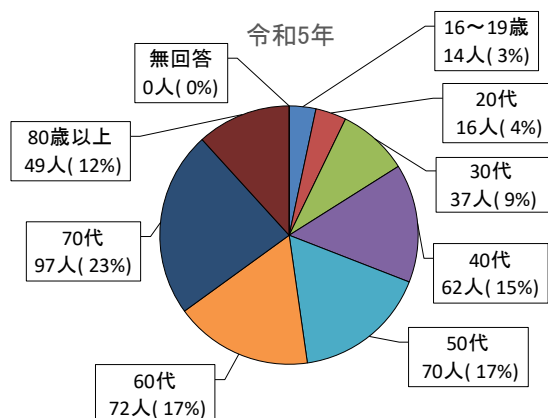
## 1. 性別



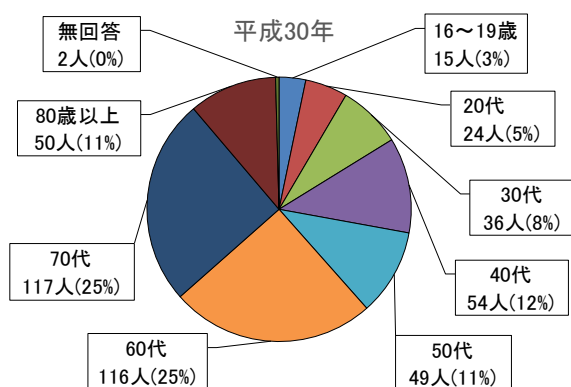
	発送数	回答数	回答率
男性	716	190	26.5
女性	784	226	28.8
その他		0	
無回答		1	

	発送数	回答数	回答率
男性	713	205	28.8
女性	787	257	32.7
その他		0	
無回答		1	

## 2. 年齢



	発送数	回答数	回答率
16~19歳	55	14	25.5
20代	147	16	10.9
30代	146	37	25.3
40代	201	62	30.8
50代	218	70	32.1
60代	206	72	35.0
70代	294	97	33.0
80歳以上	233	49	21.0
無回答		0	
計	1500	417	27.8



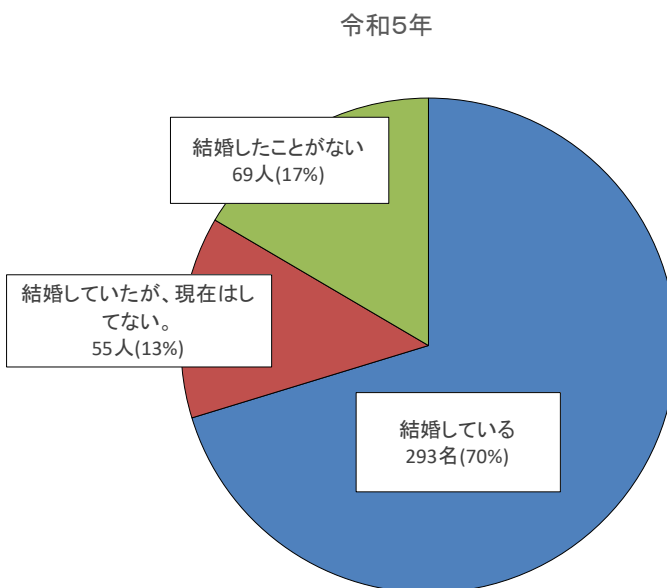
	発送数	回答数	回答率
16~19歳	60	15	25.0
20代	146	24	16.4
30代	155	36	23.2
40代	221	54	24.4
50代	193	49	25.4
60代	260	116	44.6
70代	269	117	43.5
80歳以上	196	50	25.5
無回答		2	
計	1500	463	30.9

●調査回答者の性別は、前回から男性の割合が2ポイント増加した。年齢別では、60歳以上が前回調査より減少し、30代~50代の割合が増加している。

# I 回答者の特性

## 3. 結婚について

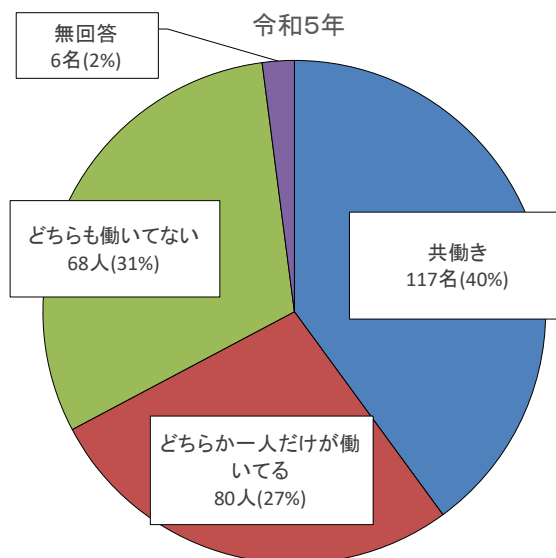
●結婚している（事実婚を含む）が全体の70%を占め、結婚したことがない、結婚していたが、現在はしてないと続く。



No.	結婚について	回答数	割合
1	結婚している（事実婚を含む）	293	70%
2	結婚していたが、現在はしてない。	55	13%
3	結婚したことがない。	69	17%
4	無回答	0	0%

## 4. 夫婦（パートナー）は共に働いていますか

●結婚している（事実婚を含む）中で、共働きが最も多く、どちらも働いてない、どちらか一人だけ働いてるが続く。



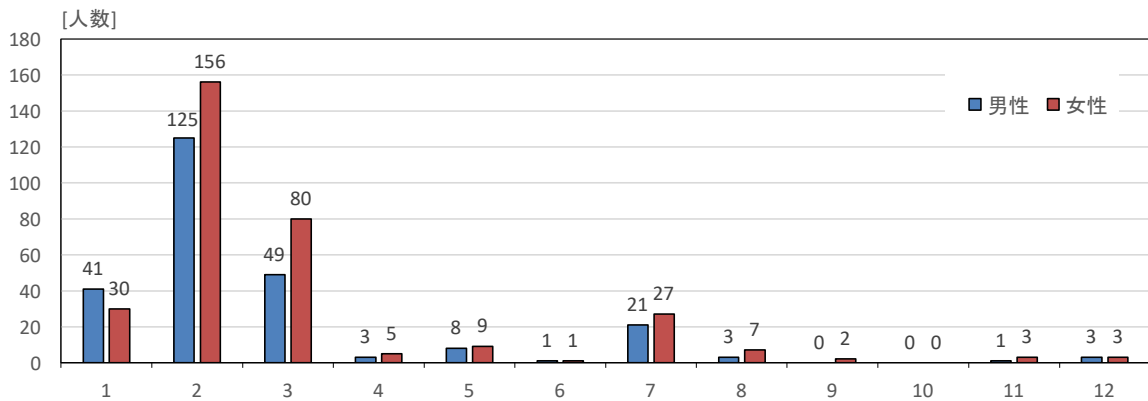
No.	共に働いていますか	回答数	割合
1	共働き	117	40%
2	どちらか一人だけ働いてる	80	27%
3	どちらも働いてない	90	31%
4	無回答	6	2%

# I 回答者の特性

## 5. 家族構成（同居者）

●配偶者と二人で暮らしている家庭が最も多く、2世帯家族（自分・配偶者の親・子のどちらか一方）、一人暮らしと続く。

No	同居者	男性	女性	その他 無回答
1	一人暮らし	41	30	0
2	配偶者	125	156	0
3	子ども	49	80	0
4	子どもの配偶者	3	5	0
5	自分の兄弟姉妹	8	9	0
6	配偶者の兄弟姉妹	1	1	0
7	自分の親	21	27	1
8	配偶者の親	3	7	0
9	自分の祖父母	0	2	0
10	配偶者の祖父母	0	0	0
11	孫	1	3	0
12	その他・無回答	3	3	0

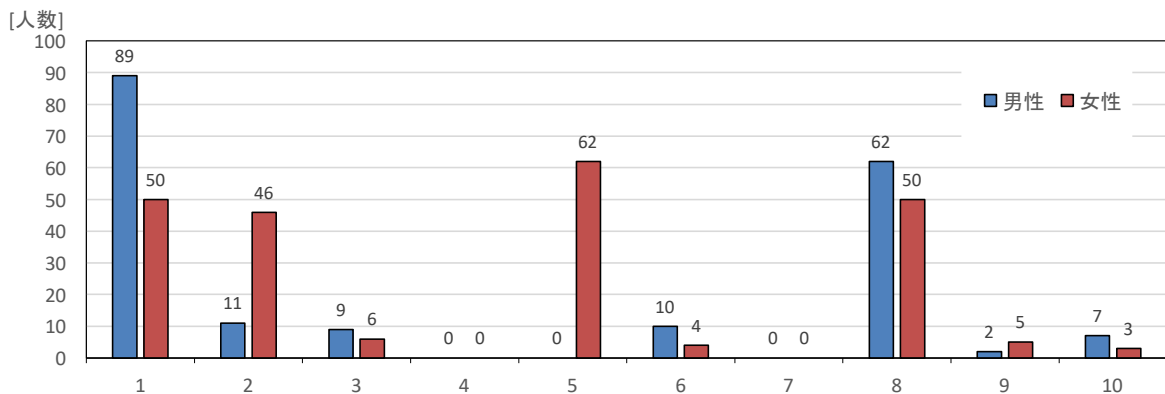


## 6. 職業

●勤め人（常勤）は男性が多く、パート、アルバイトでは女性の方が多い。

●内職、在宅就業、農林漁業は0%だった。

No	職業	男性	女性	その他 無回答
1	勤め人（常勤）	89	50	1
2	パート、アルバイト	11	46	0
3	自営業	9	6	0
4	内職、在宅就業	0	0	0
5	専業主婦・主夫	0	62	0
6	学生	10	4	0
7	農林漁業	0	0	0
8	年金等生活者	62	50	0
9	就職活動中	2	5	0
10	その他・無回答	7	3	0



## Ⅱ 就労について

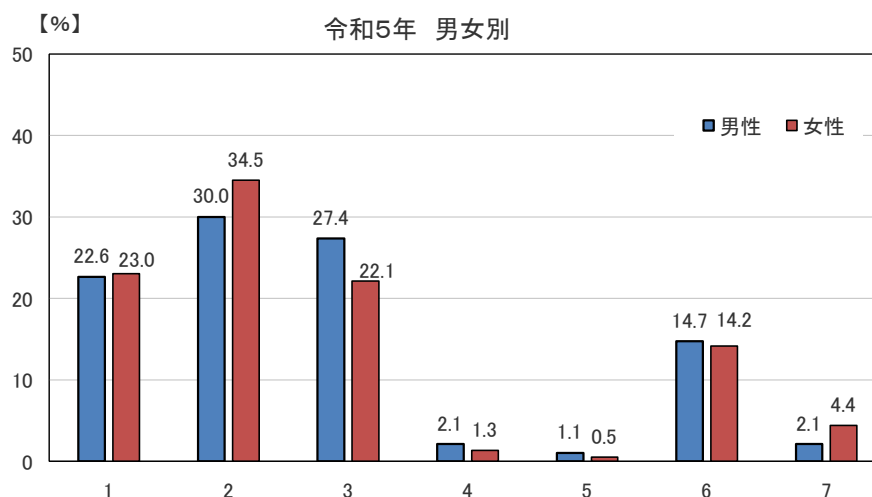
問7. あなたは次にあげる項目において、男女は平等になっていると思いますか。

(1つだけ選択)

1	男性の方が優遇されている
2	どちらかといえば男性が優遇されている
3	平等になっている
4	どちらかといえば女性が優遇されている
5	女性の方が優遇されている
6	わからない
7	無回答

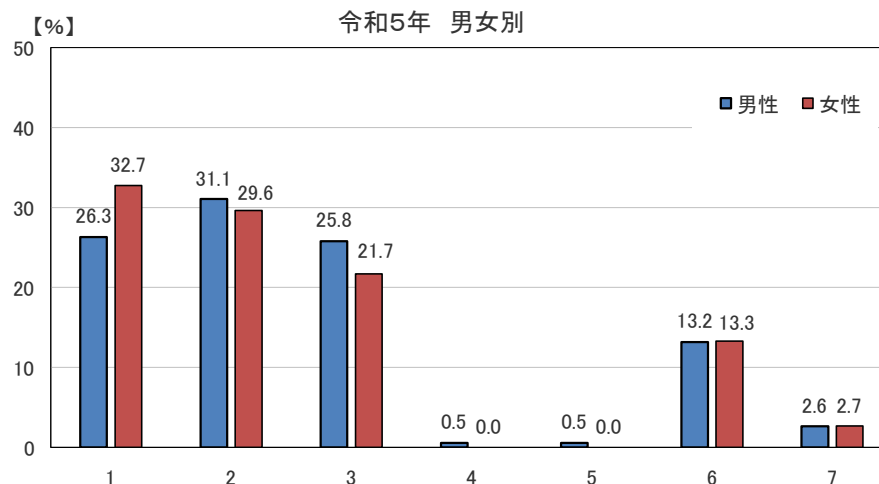
### 1. 雇用形態

	1	2	3	4	5	6	7
男性	22.6	30.0	27.4	2.1	1.1	14.7	2.1
女性	23.0	34.5	22.1	1.3	0.5	14.2	4.4



### 2. 賃金

	1	2	3	4	5	6	7
男性	26.3	31.1	25.8	0.5	0.5	13.2	2.6
女性	32.7	29.6	21.7	0.0	0.0	13.3	2.7



## Ⅱ 就労について

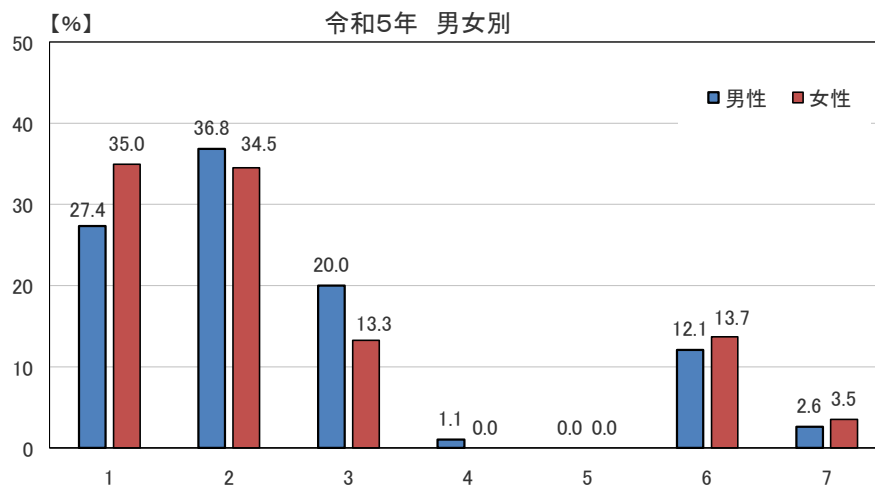
問7. あなたは次にあげる項目において、男女は平等になっていると思いますか。

(1つだけ選択)

1	男性の方が優遇されている
2	どちらかといえば男性が優遇されている
3	平等になっている
4	どちらかといえば女性が優遇されている
5	女性の方が優遇されている
6	わからない
7	無回答

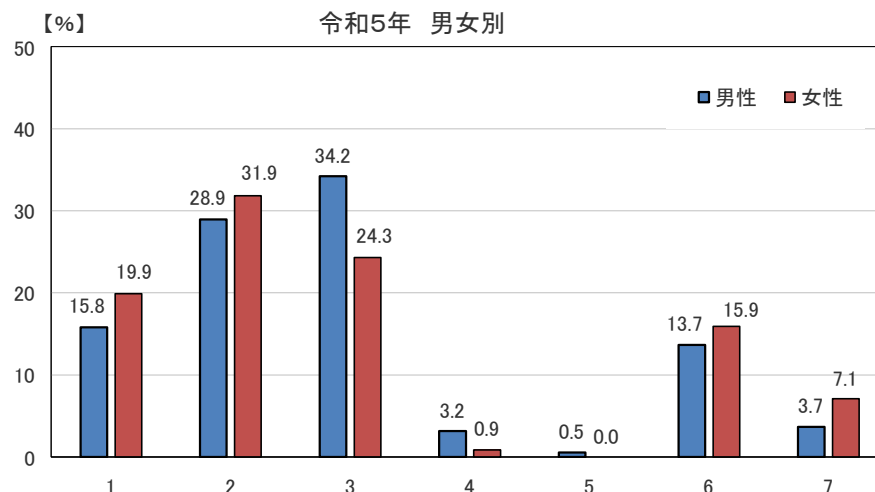
### 3. 昇進・昇格

	1	2	3	4	5	6	7
男性	27.4	36.8	20.0	1.1	0.0	12.1	2.6
女性	35.0	34.5	13.3	0.0	0.0	13.7	3.5



### 4. 能力の評価

	1	2	3	4	5	6	7
男性	15.8	28.9	34.2	3.2	0.5	13.7	3.7
女性	19.9	31.9	24.3	0.9	0.0	15.9	7.1





## Ⅱ 就労について

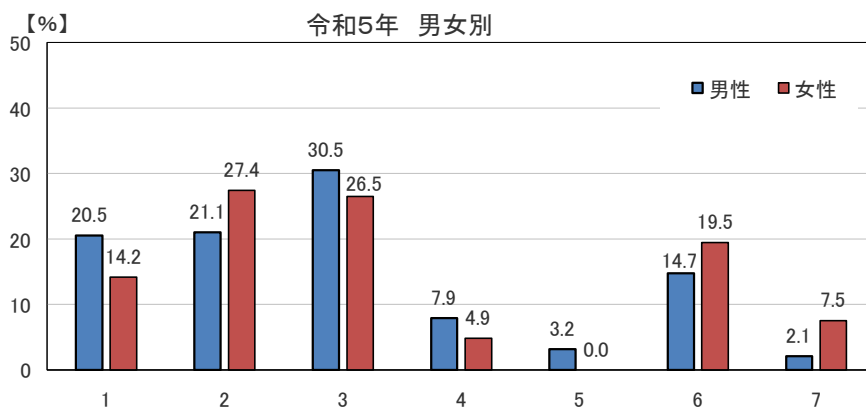
問7. あなたは次にあげる項目において、男女は平等になっていると思いますか。

(1つだけ選択)

1	男性の方が優遇されている
2	どちらかといえば男性が優遇されている
3	平等になっている
4	どちらかといえば女性が優遇されている
5	女性の方が優遇されている
6	わからない
7	無回答

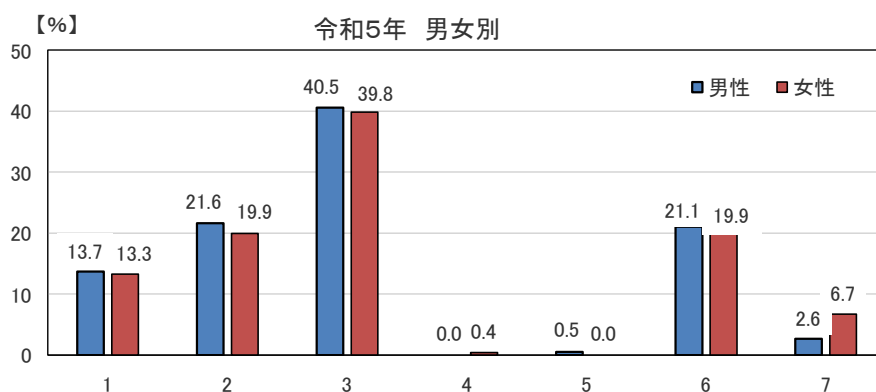
### 5. 業務内容

	1	2	3	4	5	6	7
男性	20.5	21.1	30.5	7.9	3.2	14.7	2.1
女性	14.2	27.4	26.5	4.9	0.0	19.5	7.5



### 6. 研修等を受ける機会

	1	2	3	4	5	6	7
男性	13.7	21.6	40.5	0.0	0.5	21.1	2.6
女性	13.3	19.9	39.8	0.4	0.0	19.9	6.7



- 雇用形態、賃金、昇進・昇格、能力評価で「男性優位」という回答が多い。
- 業務内容、研修等を受ける機会では、男性・女性ともに「平等」の回答が多かった。
- 選択肢を比較すると、「男性の方が優遇されている」と回答している割合は女性の方が多い。

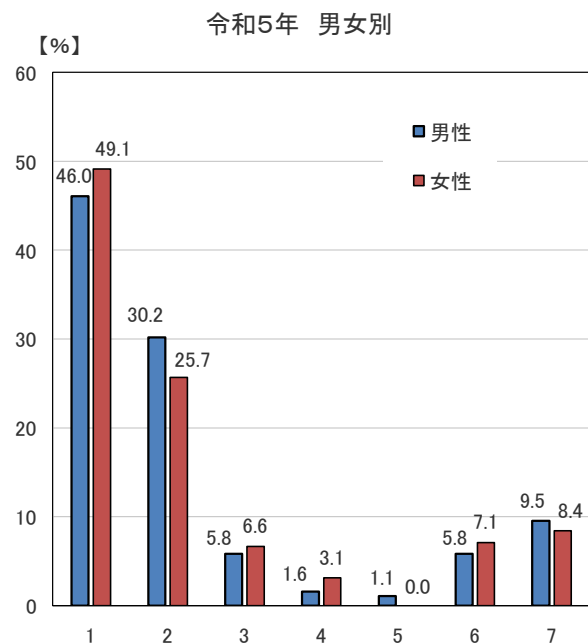
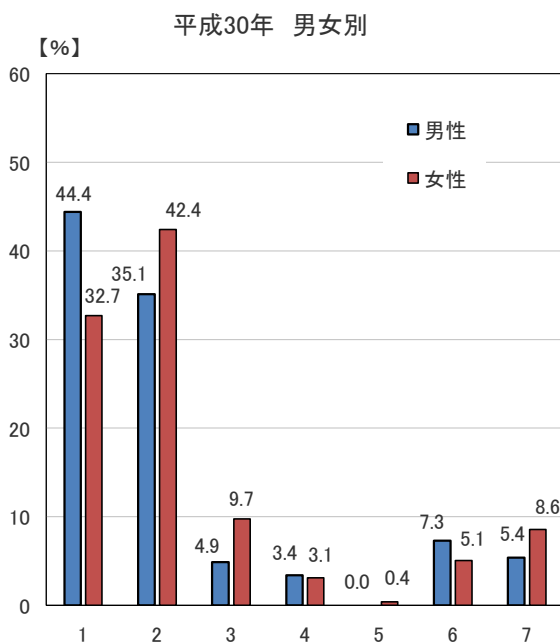
## Ⅱ 就労について

問8. あなたは女性が職業をもつことについてどう思いますか。

(1つだけ選択)

1	結婚し、子どもができてもずっと職業を続ける方がよい
2	子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい
3	結婚しても子どもができるまでは職業をもつ方がよい
4	結婚するまでは職業をもつ方がよい
5	職業をもたない方がよい
6	分からない
7	その他・無回答

	1	2	3	4	5	6	7
男性	46.0	30.2	5.8	1.6	1.1	5.8	9.5
(前回比)	1.6	-5.0	0.9	-1.8	1.1	-1.5	4.2
女性	49.1	25.7	6.6	3.1	0.0	7.1	8.4
(前回比)	16.4	-16.7	-3.1	0.0	-0.4	2.0	-0.2



●男性では「結婚し、子どもができてもずっと職業を続ける方がよい」という回答が46%で最も多く、前回調査と比較すると1.6ポイント増加している。また、女性も「結婚し、子どもができてもずっと職業を続ける方がよい」という回答が49.1%で最も多く、前回比は16.4ポイント増加した。

●「職業を持たない方がよい」と回答した女性は0%だった。

## Ⅱ 就労について

8 その他の内容 及び回答者の意見		
・ 職業をもつのは良い事だと思う。でもその時々で違うと思います。	60代	女性
・ ライフスタイルに応じた働き方を選択できるようになるべき。問いに対する回答が「女性＝結婚するもの」という前提に基づいているように見えるので、「自らの生き方を自由に選択し」という考えに立つならば、問いか回答の言い回しを変えた方が良い。	20代	男性
・ 子供のことを一番考えてほしい。どこを見ても最近はお金の事ばかり。	40代	男性
・ 夫婦共通に納得して決めるなら何でも良い。	30代	女性
・ 大きくなったら、預ける施設があれば早く仕事に復帰したい。	50代	女性
・ 本人の自由意志に従う方が良い。	50代	男性
・ 人それぞれ。	40代	女性
・ 女性の意思だけで。	50代	男性
・ 女性は仕事を持ってよい。結婚後はそれぞれ相手と話し合って決定すればよい。	50代	女性
・ 結婚しても、子どもがいても、その時の状況で働くのが良い。	60代	女性
・ 状況に応じて職業をもつ事は良い事。	60代	男性
・ 個人の判断。	50代	男性
・ 決められない。人それぞれ違うので。	50代	女性
・ 人それぞれ違う。	40代	女性
・ 一度やめても再びやめる前と同じような賃金がもらえるなら、子どもが小さいうちはやめてもいいのかも	40代	女性
・ 個人の考え方を尊重すればいい。どうすべきという考え方は自分の中にある。	40代	女性
・ 本人の選択が受け入れられる世の中になればどれでもよい。	50代	男性
・ 子どもを安心して預けられる所の充実。	70代	女性
・ その人がしたいようにすればいい。	10代	男性
・ 個々の考え方があると思うので一概には言えない。	70代	女性
・ 本人が決めることで他人が決めることでない。	40代	男性
・ 個人の自由だと思う。	40代	女性
・ その人の意思にまかせる。	80代	男性
・ 個人の意思で選択すべき。	60代	女性
・ 仕事を持ちたい人は仕事をし、家庭に居たい人は家庭にいる。女性自身がどうありたいか、どう生きたいのか、一人一人が生きたいように生きれば良いのだと思います。	40代	
・ 特にこだわった意見もなく、否定的でもない。	50代	男性
・ 自由でいい。「女性が・・・」という本設問自体に違和感あり。	50代	男性
・ 固定観念はなく、それぞれが思うように出来たらいい。その様な環境があるといいと思う。	50代	女性
・ 女性が職業を持つことは賛成ですが、結婚し子どもが出来たら、絶対に配偶者の協力があるからこそ仕事を続ける事ができるのです。	60代	女性
・ 続けるかどうか含めて、本人の意思を尊重すべき。	40代	男性
・ 本人の希望どおりがよい。	40代	男性
・ 子供に負担をかけない事。	60代	女性
・ そのときのタイミングで決めれば良い。	20代	男性

### 所見

男女ともに結婚しても女性は働くという意識を持っていることがうかがえた。

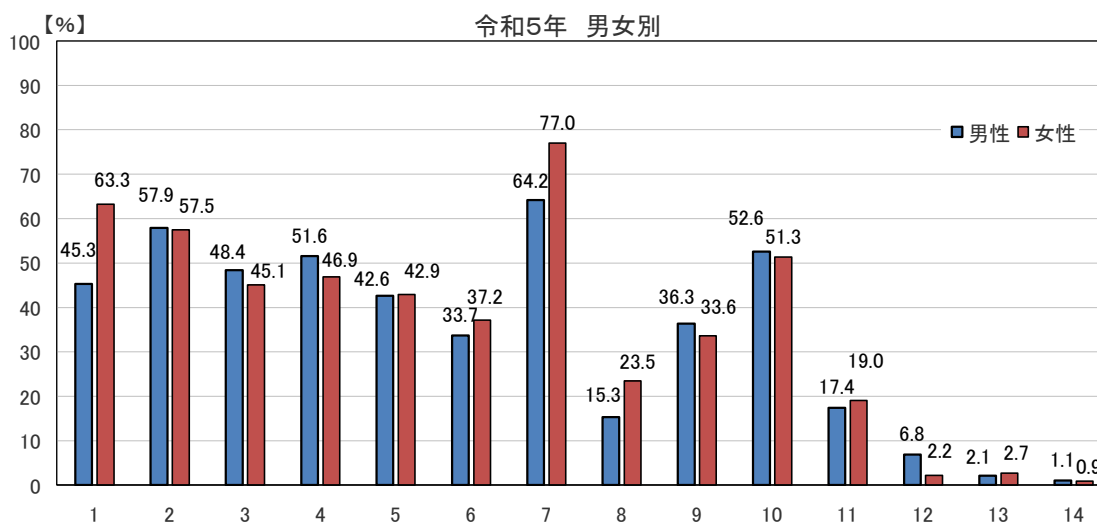
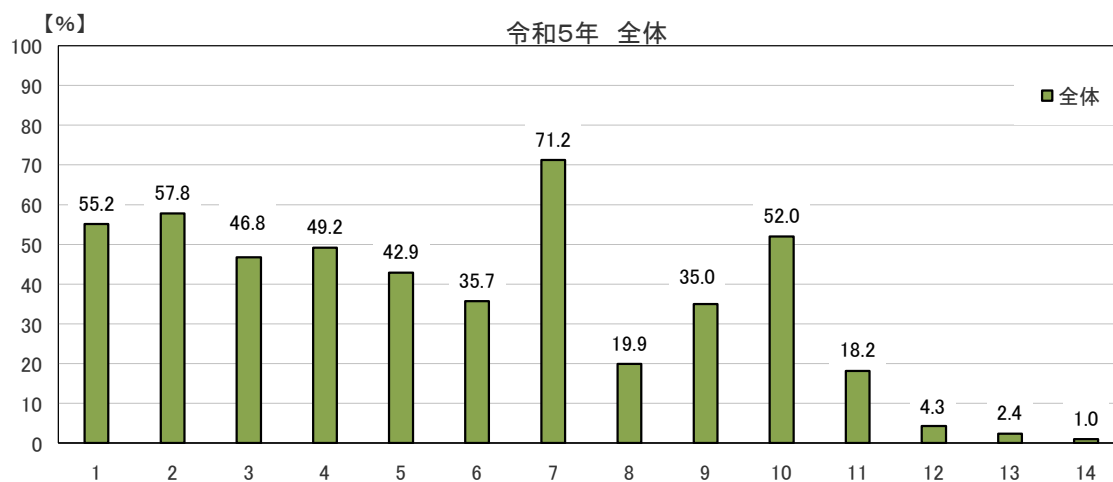
## Ⅱ 就労について

問9. あなたは、女性が仕事を続けていく上で、障害になると思うことはどれですか。

(全部選択)

1	男女がともに家事や育児、介護にかかわるという意識がない
2	育児・介護休業制度が不十分である
3	労働条件が整っていない
4	保育施設について、施設の数、サービスの内容が不十分である
5	介護施設について、施設の数、サービスの内容が不十分である
6	企業が結婚・出産した女性を敬遠する傾向がある
7	家庭と仕事の両立が大変
8	家族の理解がない
9	職場の理解がない
10	男性に比べて賃金が安く、職種も限られている
11	女性自身の職業に対する自覚が不足している
12	障害は特にならない
13	その他
14	無回答

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
全体	55.2	57.8	46.8	49.2	42.9	35.7	71.2	19.9	35.0	52.0	18.2	4.3	2.4	1.0
男性	45.3	57.9	48.4	51.6	42.6	33.7	64.2	15.3	36.3	52.6	17.4	6.8	2.1	1.1
女性	63.3	57.5	45.1	46.9	42.9	37.2	77.0	23.5	33.6	51.3	19.0	2.2	2.7	0.9



## Ⅱ 就労について

- 男女ともに「家庭と仕事の両立が大変」という意見がもっとも多かった。
- 「男女がともに家事や育児、介護にかかわるという意識がない」が男女別で見ると18ポイント差があり、一番差がついた。

### 9 その他の内容 及び回答者の意見

・ 子供の事で急に休むと嫌がられる。	40代 男性
・ 育児休業をとった後、仕事にまた復帰すると、まわりの雰囲気が感じが悪いような気がする。	60代 女性
・ 全てお金が問題。いくら働いても貯金ができない。	40代 男性
・ 障害を持った人の賃金が安すぎる。	50代 女性
・ 子供の病気などによる、急な欠勤、早退による影響。	50代 男性
・ 息子夫婦はお互いに協力しあっているように見えるので良いと思う。	60代 女性
・ 上司の理解がない。	50代 女性
・ 現場での作業員が人数不足で女性が過労してしまうこと。	40代 男性
・ 子供が生まれてからの親の責任感をどう考えるか。	80代 女性
・ 子供が高校生までは家に居る方が良い。	70代 女性
・ 子供が熱出したときに預かってくれるところがほしい。	60代 女性

### 所見

女性が仕事を続けてく上で、「家庭と仕事の両立が大変」という意見が多くあり、育児・介護休業制度の充実や男性が育児や介護に関わる意識の向上が課題となっていることがうかがわれる。

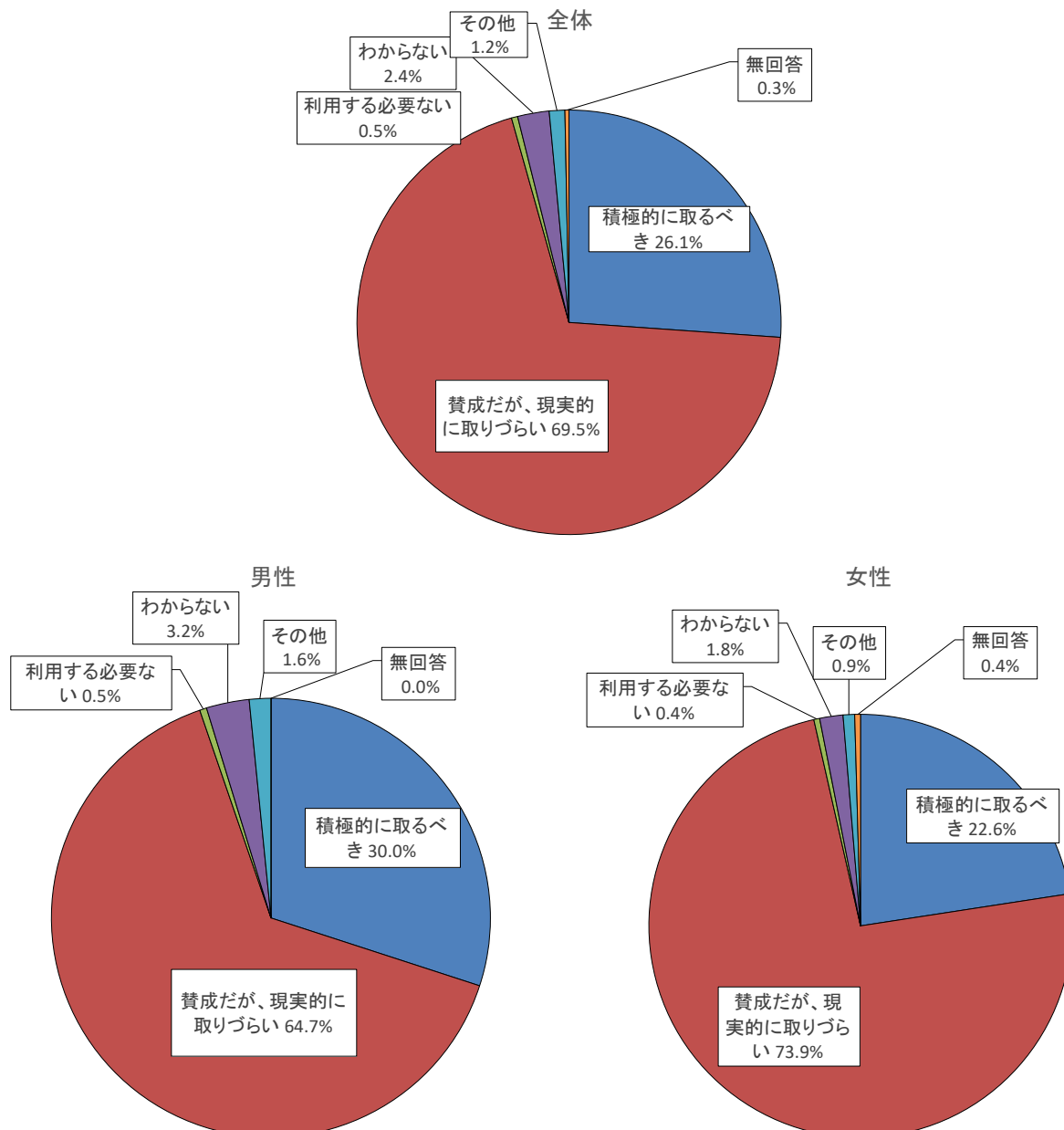
## Ⅱ 就労について

問10. あなたは、男性が、法律に基づく「育児休業」や「介護休業」を利用することについてどう思いますか。

(1つだけ選択)

1	育児休業・介護休業を積極的に取るべきである
2	育児休業・介護休業を取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う
3	育児・介護は女性がするべきであり、男性が休業制度を利用する必要はない
4	わからない
5	その他
6	無回答

	積極的に取るべき	賛成だが、現実的に取りづらい	利用する必要はない	わからない	その他	無回答
全体	26.1	69.5	0.5	2.4	1.2	0.3
男性	30.0	64.7	0.5	3.2	1.6	0.0
女性	22.6	73.9	0.4	1.8	0.9	0.4



## Ⅱ 就労について

- 男女ともに育児休業・介護休業を取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思うが一番多かった。
- 男性の方が育児休業・介護休業を積極的に取るべきであるという意見が多かった。

### 10 その他の内容 及び回答者の意見

・ 職場に復帰が難しい。副業の制度がまだ充実していない。	70代 男性
・ 男性が積極的に取るというより、話し合っ夫婦で取るべき方が取ればよい。	20代 男性
・ 休めて生活に支障が出ないなら利用したい。	60代 女性
・ 赤ちゃんはほとんど寝てるので、お母さんが身体を休めたり、家事もできる。旦那が育休をとる理由がない。	80代 女性
・ 育児については女性の方が好ましいと思います。	50代 男性

### 所見

育児・介護休業の取得について賛成が多いが現実的には取りづらいという意見が多く、社会全体で男性の制度利用促進が課題となっていることがうかがわれる。

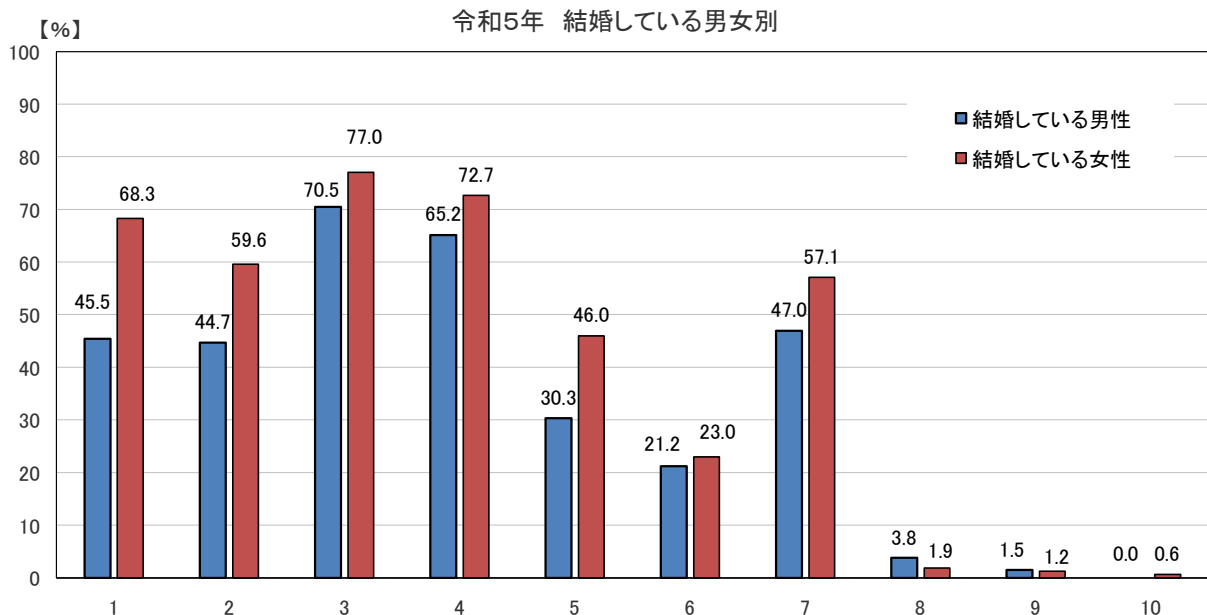
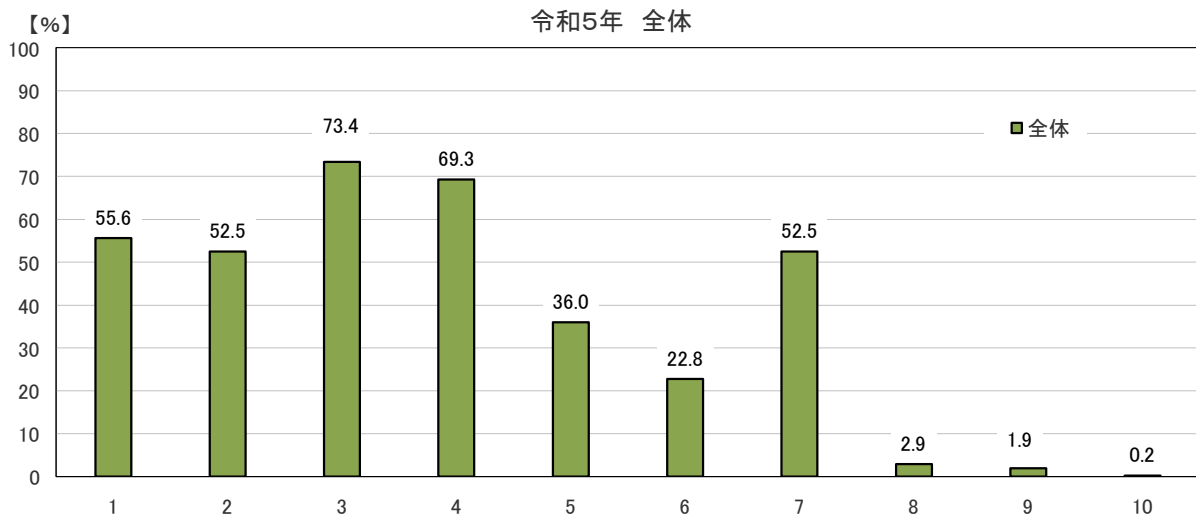
## Ⅱ 就労について

問11. 「育児休業」や「介護休業」を利用する男性が少ないのが現状ですが、あなたは、その理由は何だと思いますか。

(全部選択)

1	育児や介護は女性の役割であるという意識が強いから
2	周囲に休業制度を利用した男性が少ないから
3	休業制度を利用しにくい職場の雰囲気があるから
4	職場・同僚に迷惑をかけるから
5	制度利用後の人事評価や待遇面が心配だから
6	仕事上における知識の遅れや技術の低下が心配だから
7	休業中の収入が心配だから
8	わからない
9	その他
10	無回答

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全体	55.6	52.5	73.4	69.3	36.0	22.8	52.5	2.9	1.9	0.2
男性	45.5	44.7	70.5	65.2	30.3	21.2	47.0	3.8	1.5	0.0
女性	68.3	59.6	77.0	72.7	46.0	23.0	57.1	1.9	1.2	0.6





## Ⅱ 就労について

- 男女ともに「休業制度を利用しにくい職場の雰囲気があるから」が一番多かった。
- 「育児や介護は女性の役割であるという意識が強いから」が結婚している男女別で見ると22.9ポイント差があり、一番差がついた。

1 1 その他の内容 及び回答者の意見		
・ 制度があること自体、社内で知られていない。	30代	女性
・ 職場が普段から最低限の人数で回しており、育休取得時の人員フォローが不十分である。	30代	男性
・ 実際、男性はできないことが多い。やれない人もいるが、異性の介護の時、トイレの付き添い視線が気になる。	70代	男性
・ 本人に聞いてみなければわからない。	80代	女性
・ 育児に対する責任感が男性の方が低い。	40代	女性
・ 行政そのものがはっきりしてない。	40代	男性
・ 「育児休業」や「介護休業」になじみがないのでわからない。	50代	男性

### 所見

制度を取得しづらい職場環境が課題となっており、職場での制度への理解促進が求められている。また、男性の育児・介護への介入の意識が求められている結果となった。

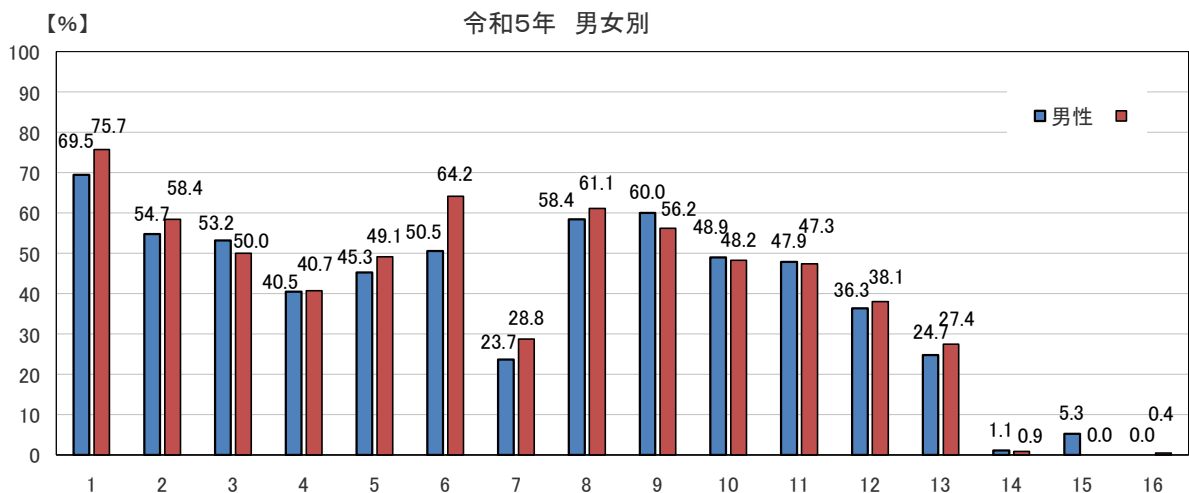
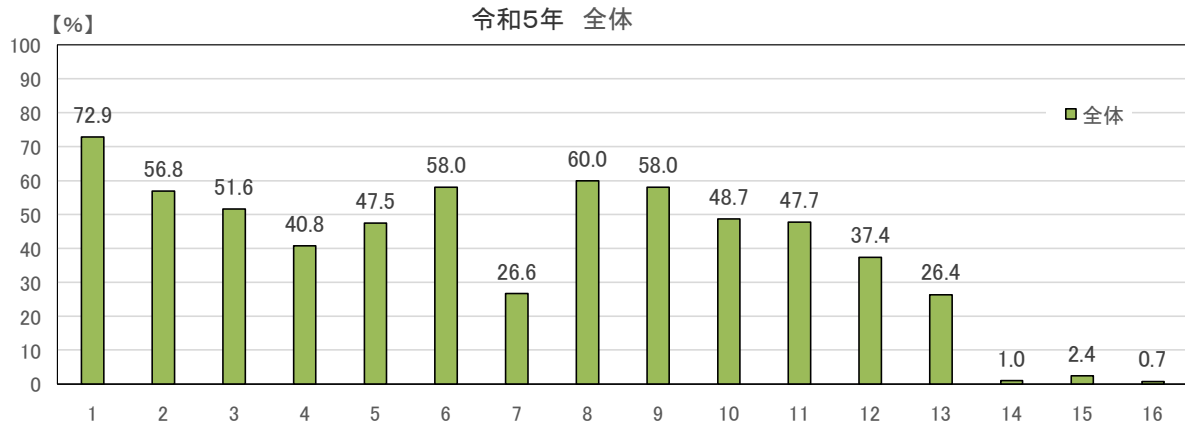
## Ⅱ 就労について

問12. あなたは、これから女性が働きやすい環境をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか

(全部選択)

1	男性の家事・育児・介護への参加を進める
2	長時間労働を見直すなど働き方を変える
3	女性が働ける職場の増加や職業紹介を充実する
4	昇進、昇格や管理職登用の格差をなくす
5	賃金や業務内容における性別差をなくす（同一労働同一賃金）
6	パートタイムなどの女性が多く働く職場の労働条件を向上する
7	再就職を希望する女性のための講座、セミナーを充実する
8	出産後も職場復帰できる再雇用制度を充実する
9	保育所や学童保育（児童クラブ）などの育児環境を充実する
10	育児・介護休業制度などの普及を図る
11	職場の意識改革などについて、企業に対する働きかけを行う
12	事業所内保育施設の整備を促進する
13	職業生活を続ける上での相談窓口を充実させる
14	特に必要なことはない
15	その他
16	無回答

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
全体	72.9	56.8	51.6	40.8	47.5	58.0	26.6	60.0	58.0	48.7	47.7	37.4	26.4	1.0	2.4	0.7
男性	69.5	54.7	53.2	40.5	45.3	50.5	23.7	58.4	60.0	48.9	47.9	36.3	24.7	1.1	5.3	0.0
女性	75.7	58.4	50.0	40.7	49.1	64.2	28.8	61.1	56.2	48.2	47.3	38.1	27.4	0.9	0.0	0.4



## Ⅱ 就労について

- 男女ともに「男性の家事・育児・介護への参加を進める」が一番多かった。
- 女性の中では、「パートタイムなどの女性が多く働く職場の労働条件を向上する」や「出産後も職場復帰できる再雇用制度を充実する」の回答が多かった。

12 その他の内容 及び回答者の意見	
・ 働きやすいの定義がわからない。逆に働きにくい仕事しかないのでは。	40代 男性
・ 男性自身が知識不足である。	80代 男性
・ 女性の正社員化を進めるべき。男性のパートを増やして時給を上げるべき。	30代 男性
・ 副業の促進。朝だけ2時間、夕方2時間といった場合、職が違えば副業禁止でできないことが多い。また、正職でも女性は昇級が遅く（特に役所の正職、臨時、社団法人関係）、副業したいのに行かない。	70代 男性
・ オンラインで働ける環境を作る。	20代 男性
・ 働きやすい制度を設けたとしても、それを利用する事が叶わない雰囲気あまりに多いと感じる。	60代 男性
・ 現場の設備を新しくする。	40代 男性
・ 配偶者控除の制度を撤廃する。	40代 男性
・ 女性だけでなく男性も職場が働きやすい環境であってほしい。	50代 男性
・ 各企業や職場全体で、そういった環境や意識改革を進める必要がある。	40代 男性

### 所見

女性の働きやすい環境を作るためには、男性が育児・介護への参加や職場での女性の労働条件の向上が課題になっていることがうかがえた。

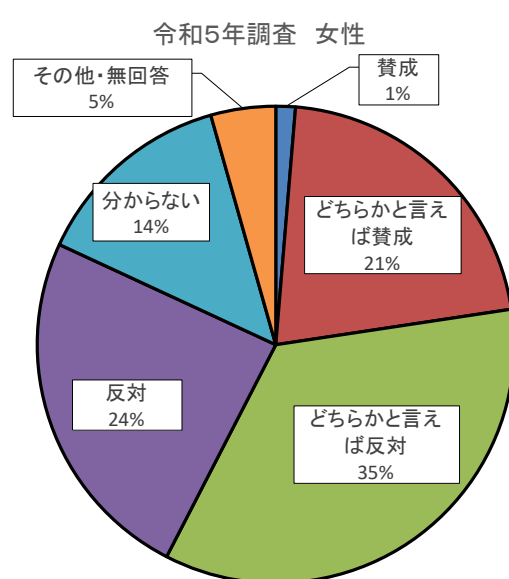
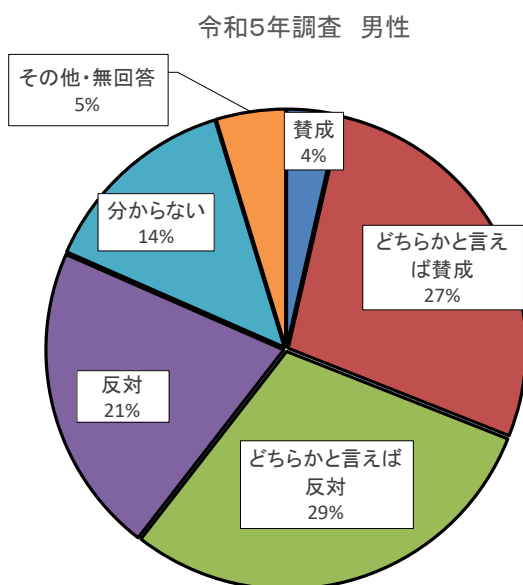
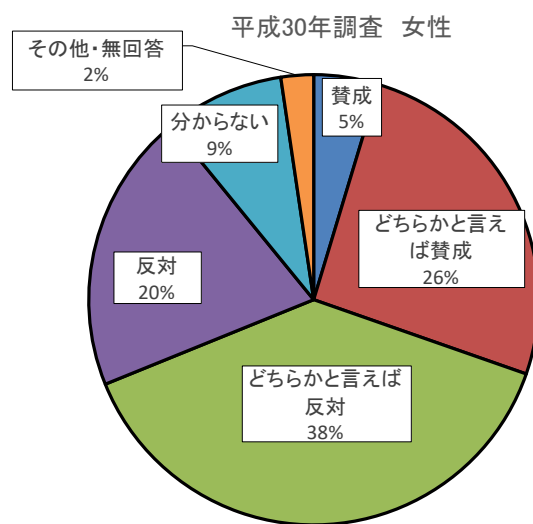
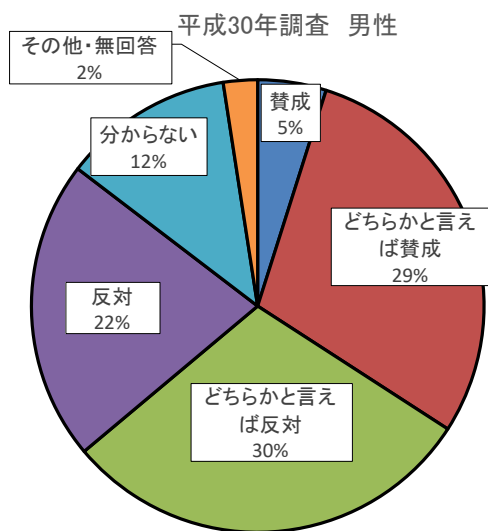
### Ⅲ家庭生活について

問13. あなたは「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識についてどう思いますか。

(1つだけ選択)

1	賛成
2	どちらかと言えば賛成
3	どちらかと言えば反対
4	反対
5	分からない
6	その他・無回答

	賛成	どちらかと言え ば賛成	どちらかと言え ば反対	反対	分からない	その他・無回答
男性	3.6	27.4	29.5	21.1	13.7	4.7
(前回比)	-1.3	-1.9	-0.3	-0.4	1.5	2.3
女性	1.3	21.3	35.0	24.3	13.7	4.4
(前回比)	-3.3	-4.4	-3.6	4.1	5.2	2.1



### Ⅲ家庭生活について

●前回の調査と比較すると、男女とも「賛成」「どちらかといえば賛成」という回答が減少し、「反対」「どちらかといえば反対」という回答が半数以上となった。

#### 13 その他の内容 及び回答者の意見

・ そもそも区別する必要がない。	30代 女性
・ 逆でも問題はない。	30代 男性
・ 男性は仕事優先ですが、女性の家事の事にサポートも忘れず。	70代 男性
・ 夫婦の生活スタイル次第。	50代 男性
・ その時の状況で女性が働いて、男性が家庭にいることもあって良いと思う。	60代 女性
・ 昔からの考えであるのであまり賛成は出来ないが、子どもの事を考えると子どもが小さい時は母親は家にいた方がいいと思う。	50代 女性
・ 男性は仕事に賛成。女性は家庭でも仕事でも好きにすれば良いと思う。	40代 女性
・ 各家庭で決めるべき。	40代 男性
・ そのような考えは既に無い。	40代 男性
・ 大人の都合だけでなく子供の意見も必要では。	80代 女性
・ その概念自体、淘汰されてほしい。女・男関係はないと思います。男性でも家庭で家事をしたい人はすればいいし、女性で仕事をしたい人はすれば良い。	40代 女性
・ 賛成でも反対でもない。	30代 女性
・ 特にこだわりはありません。	50代 男性
・ 各家庭によると思うので、賛成も反対もしかねる。	40代 男性
・ 気にしたことがない。	40代 男性
・ 環境によって様々だと思う	40代 女性
・ 平等とはいえ、男女の質というのもあり、向き不向きもある。男性の方が経済的に優位なのであればそうせざるを得ない。	40代 女性

#### 所見

性別的役割分担の意識は男女ともに低くなっており、反対意識が半数以上しめてきていることから、固定的性別役割分担に囚われない考え方が増えてきていることがうかがえる。

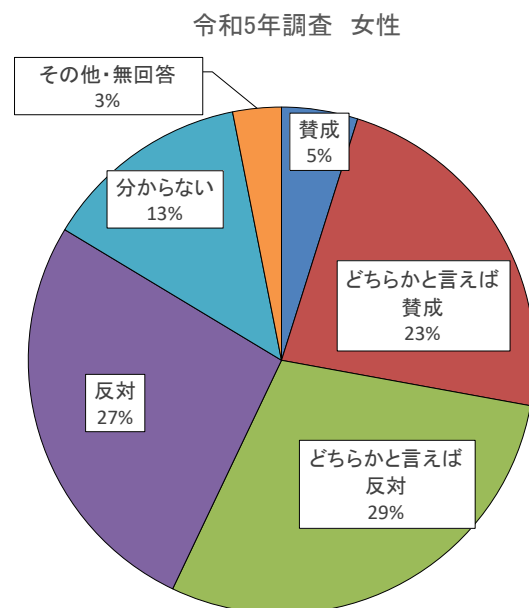
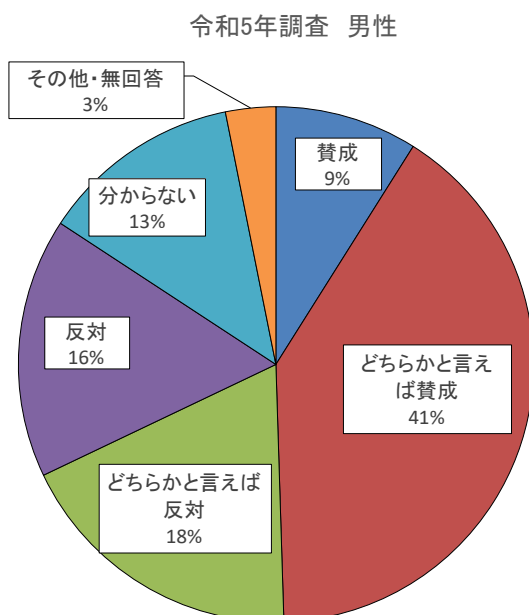
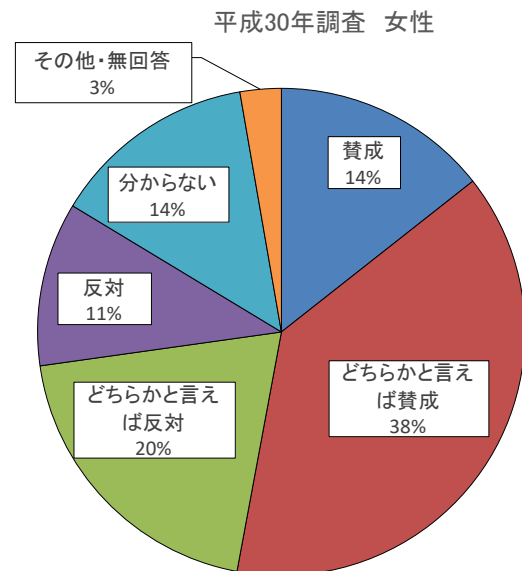
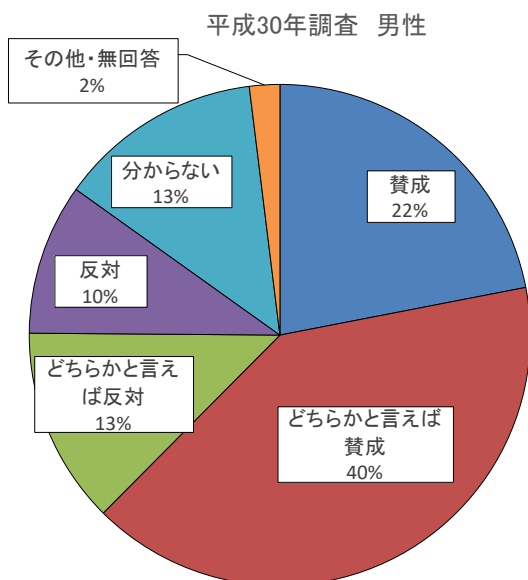
### Ⅲ家庭生活について

問14. あなたは子どもの育て方について「男らしく」「女らしく」と区別することについてどう思いますか

(1つだけ選択)

1	賛成
2	どちらかと言えば賛成
3	どちらかと言えば反対
4	反対
5	分からない
6	その他・無回答

	賛成	どちらかと言え ば賛成	どちらかと言え ば反対	反対	分からない	その他・無回答
男性	8.9	40.6	18.4	16.3	12.6	3.2
(前回比)	-13.0	0.1	5.7	6.6	-0.5	1.2
女性	4.9	23.0	29.2	26.5	13.3	3.1
(前回比)	-9.5	-15.5	9.4	15.7	-0.3	0.4



### Ⅲ家庭生活について

●前回の調査と比較すると、男女ともに「賛成」という回答が減少したが、男性の「どちらかといえば賛成」が微増した。「どちらかといえば反対」「反対」という回答が男女ともに増え、女性は半数以上となった。

#### 14 その他の内容 及び回答者の意見

・ そうしようとする人が多いが必要ない。	30代 女性
・ 子どもがいないのでわからない。	40代 女性
・ 区分するもしないも自由だし、他人が口を出すことではない。	30代 男性
・ 区別せずに個性を伸ばしてあげる事。	70代 男性
・ 「男尊女卑」の概念を捨ててしまえるなら「男／女らしく」という表現はあっても良いが、それで区別する事には反対する。	60代 男性
・ 個性を大事にしてあげたい。	60代 女性
・ 自然とその子らしく育つ。	80代 女性
・ 共稼ぎなれば、そんな余裕はないのでは。	80代 女性
・ 男の子らしくしなさいと育てきました。	50代 男性
・ 男・女らしさを求めるよりも、自分らしく育てほしいと願う。	40代 男性
・ 人による。今まではその考え方があったが、これからは考えていきたい。	40代 女性

#### 所見

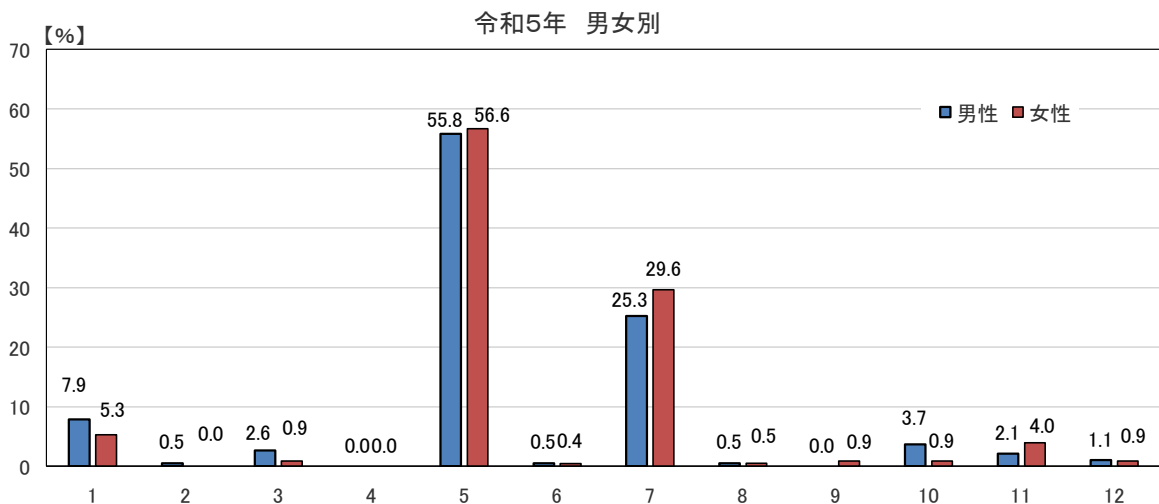
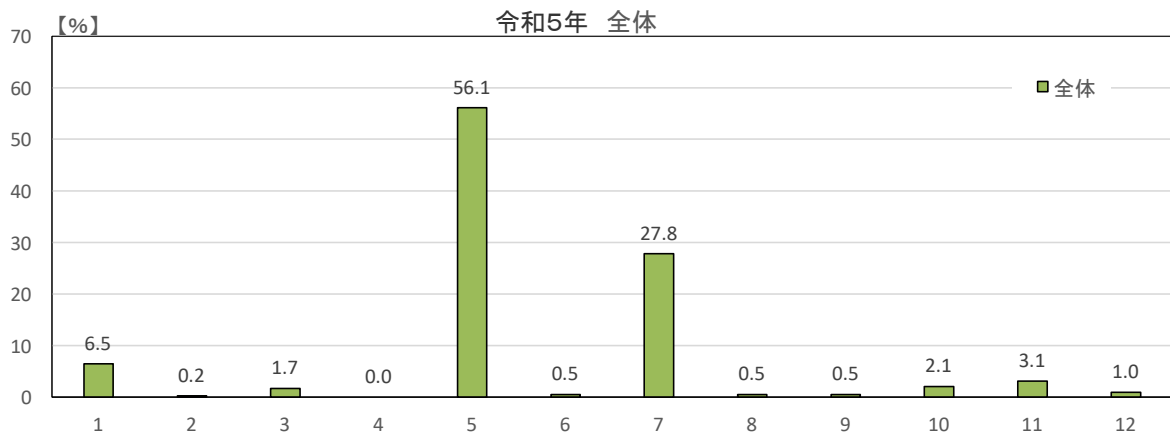
区別して育てた方がよいと考えてる人がいる一方、区別せずに子育てしたいという回答も多く、多様な生き方の社会への理解促進が進んでいることがうかがえる。

### Ⅲ家庭生活について

問15. 家庭での家事・育児等について、あなたはどうかあるべきだと思いますか。  
(1つだけ選択)

1	男性は仕事、女性は家事・育児等を分担する
2	女性は仕事、男性は家事・育児等を分担する
3	男女とも仕事をし、家事・育児等は主に女性が担う
4	男女とも仕事をし、家事・育児等は主に男性が担う
5	男女とも仕事をし、家事・育児等も男女で分担する
6	男女とも仕事をし、家事・育児等は第三者（親族やヘルパーなどのサービス）に任せる
7	特に決めてないが、その都度できる人がする
8	仕事も家事・育児等もすべてひとりで担う（単身者含む）
9	男女ではなく、親と子で分担する
10	わからない
11	その他
12	無回答

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
全体	6.5	0.2	1.7	0.0	56.1	0.5	27.8	0.5	0.5	2.1	3.1	1.0
男性	7.9	0.5	2.6	0.0	55.8	0.5	25.3	0.5	0.0	3.7	2.1	1.1
女性	5.3	0.0	0.9	0.0	56.6	0.4	29.6	0.5	0.9	0.9	4.0	0.9





### Ⅲ家庭生活について

●男女ともに「男女とも仕事をし、家事・育児等も男女で分担する」が一番多く、次いで「特に決めてないが、その都度できる人がする」が多かった。

15 その他の内容 及び回答者の意見	
・ 性別でなく、得手不得手や健康状態で分けるべき。	30代 女性
・ 男女区別するにはおかしい。お互いに助け合いながらやるべきである。	60代 女性
・ 障害を持った子供達を育てると女性が育児しかできない。	50代 女性
・ 各家庭で各々違ってよい。	40代 女性
・ それは男女の区別ではなく、個人的な得手不得手も関係あるので、各自決定すればよい。	70代 男性
・ 出来る事は区別せずにお互いに行う。	70代 男性
・ 今のような長時間労働では、結婚そのものが難しい。	70代 女性
・ それぞれの家庭の考えで決めれば良い。	60代 女性
・ 出来ることはサポートしていくということしか自分には出来ない。	50代 男性
・ 基本は親がするべきだが、共働き等で難しいのであれば、ある程度、第三者も含めて巻き込むことも止むなしか。	40代 男性
・ 近くに住んでいるとしたら、できる限り手助けをしてあげたい。	60代 女性

#### 所見

男女ともに家事・育児を分担して行う意識が強いことがうかがえた。

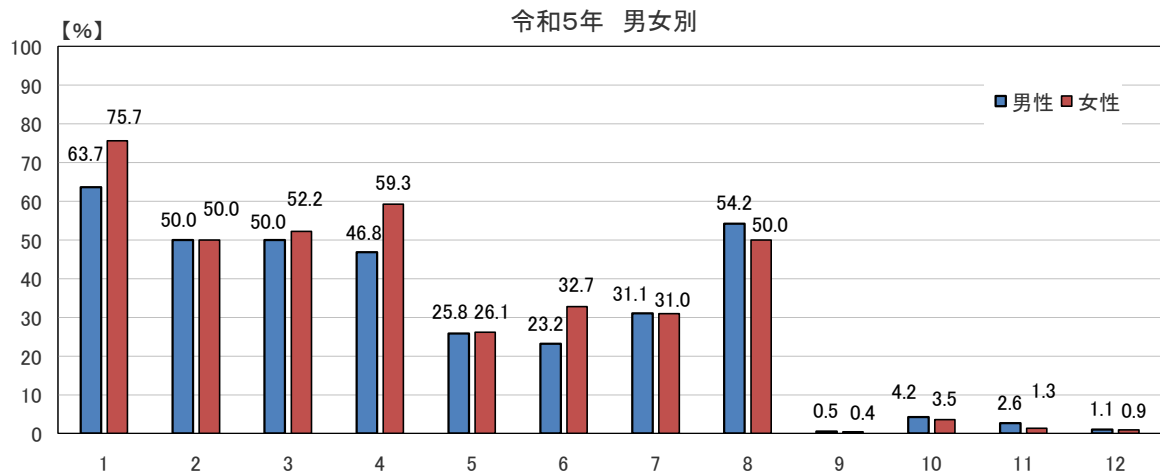
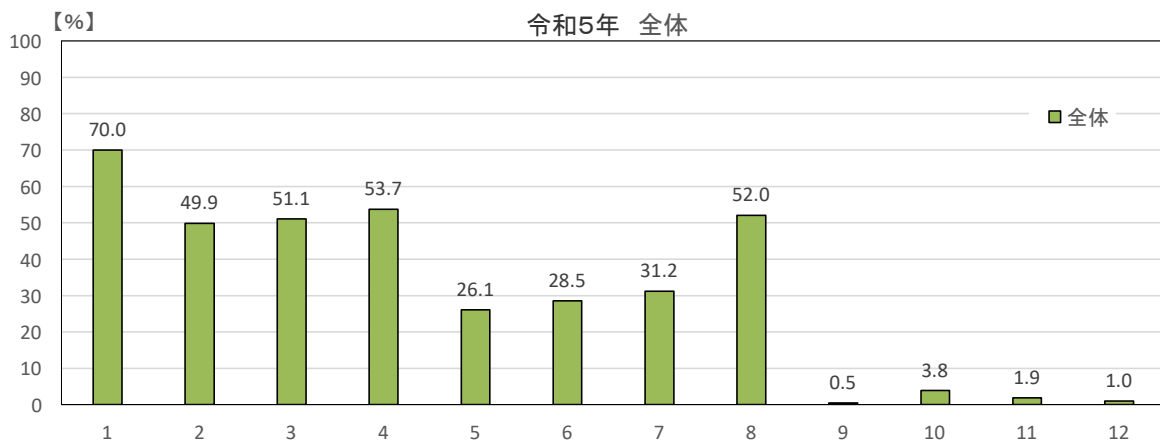
### Ⅲ家庭生活について

問16. あなたは、男性と女性がともに、家事・子育て・介護・地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(全て選択)

1	配偶者・パートナーや家族間でのコミュニケーションをよくはかる
2	男性の仕事中心、女性の家庭中心の考え方を改めること
3	労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにする
4	子どもの頃から男女ともに家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう、教育や啓発・情報提供を行う
5	国や地方自治体の研修等により、男女ともに家事や子育て、介護等の技能を高める
6	子育てや介護、地域活動を行うためのネットワークを作る
7	家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、相談しやすい窓口を設ける
8	企業等の協力のもと、仕事と家庭の両立を支援する体制を整備する
9	特に必要なことはない
10	わからない
11	その他
12	無回答

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
全体	70.0	49.9	51.1	53.7	26.1	28.5	31.2	52.0	0.5	3.8	1.9	1.0
男性	63.7	50.0	50.0	46.8	25.8	23.2	31.1	54.2	0.5	4.2	2.6	1.1
女性	75.7	50.0	52.2	59.3	26.1	32.7	31.0	50.0	0.4	3.5	1.3	0.9



### Ⅲ家庭生活について

- 男女ともに「配偶者・パートナーや家族間でのコミュニケーションをよくはかる」が一番多かった。
- 「子どもの頃から男女ともに家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう、教育や啓発・情報提供を行う」が男女別で見ると12.5ポイント差があり、一番男女間で差がついた。

#### 16 その他の内容 及び回答者の意見

・ 必要としていない人がいるのも事実なので難しい。	30代 女性
・ 男女の参画だけでなく、全員が社会に参加できるように、あるいはするようにしてほしい。生活保護で働かない人、それらの参画も検討しなくてはならない。	70代 男性
・ 賃金UP	50代 男性
・ 本人次第。	50代 男性
・ 給付金の配付。	20代 男性
・ 人に声もかけられない方もいる。殻に閉じこもって他人に相談も出来ないとか、なかなか自分からは参加していく事は難しい。周りの人達の声かけ。	50代 女性
・ 地域活動は、活動や人付き合い等がめんどう等の負のイメージが強い。プラスのイメージがもてるようになれば、子育てにも良い面がでる。そこから家事や介護も、人と話すことによって個人の心の負担が減り、良い方向に行ける。	40代 男性

#### 所見

家族間でのコミュニケーションが必要だが、職場内での体制の充実も重要なことがうかがえた。

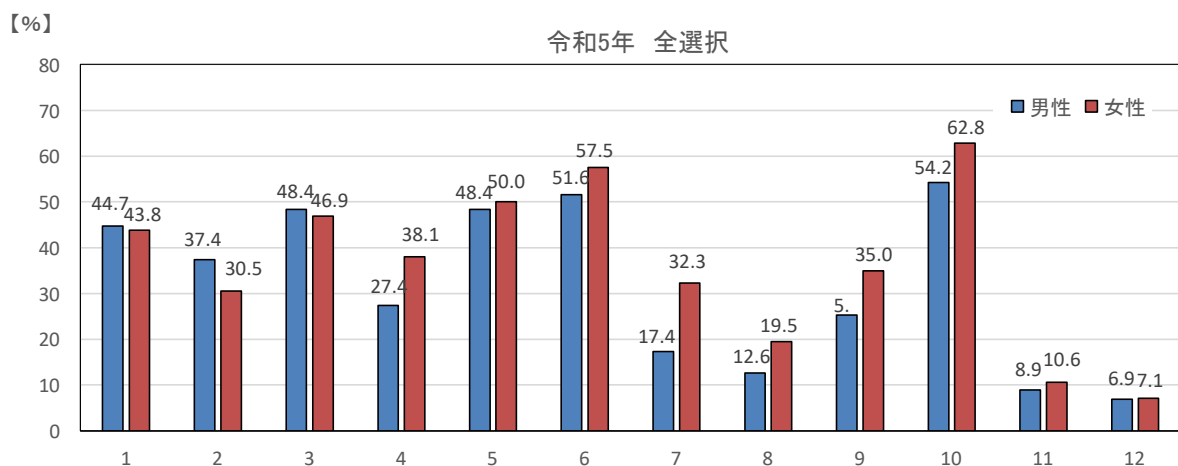
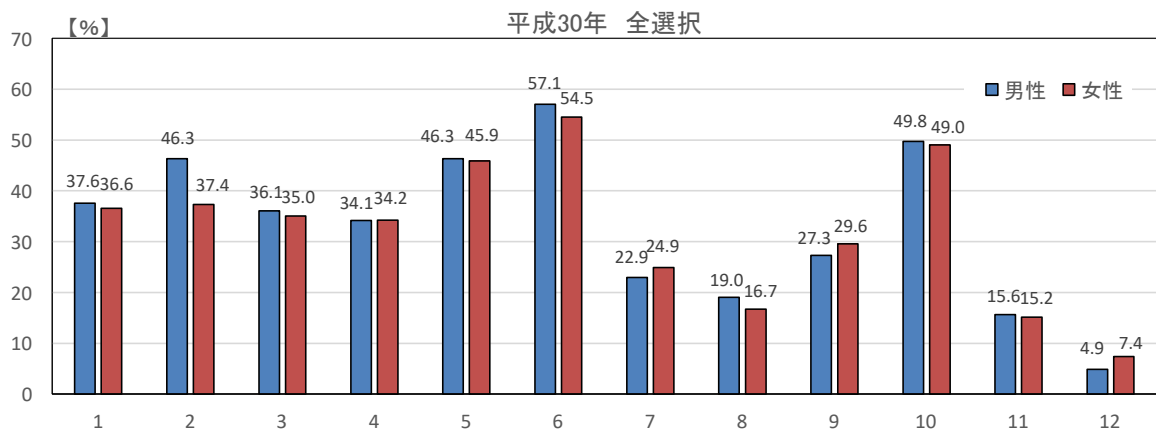
## Ⅳ人権について

問17. あなたは、どのようなことに対して女性の人権が尊重されていないと感じますか。

(全部選択)

1	婚姻・戸籍など民法上の制度や慣習からくる差別
2	女性であることを理由とした伝統行事などへの参加制限
3	結婚や離婚による改姓
4	援助交際を含む買春・売春や女性の働く風俗営業
5	夫・恋人からの身体的・精神的な暴力
6	職場における性的嫌がらせ（セクシャル・ハラスメント）
7	女性のヌード写真などを掲載した雑誌や広告
8	女性の容ぼう等を競うミス・コンテスト
9	女性だけに用いられる言葉（例：未亡人、後家 等々）
10	女性に対するストーカー（付きまとい行為）、痴漢行為
11	分からない
12	その他・無回答

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
男性	44.7	37.4	48.4	27.4	48.4	51.6	17.4	12.6	25.3	54.2	8.9	6.9
(前回比)	7.2	-9.0	12.3	-6.8	2.1	-5.5	-5.6	-6.4	-2.1	4.5	-6.7	2.0
女性	43.8	30.5	46.9	38.1	50.0	57.5	32.3	19.5	35.0	62.8	10.6	7.1
(前回比)	7.2	-6.8	11.9	3.8	4.1	3.0	7.4	2.7	5.4	13.8	-4.6	-0.3



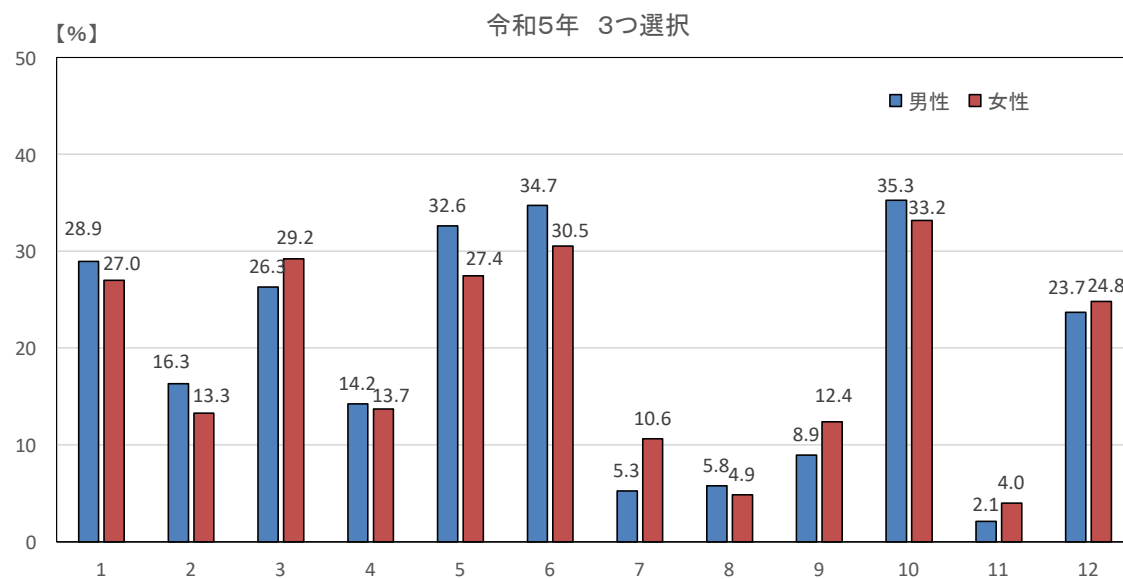
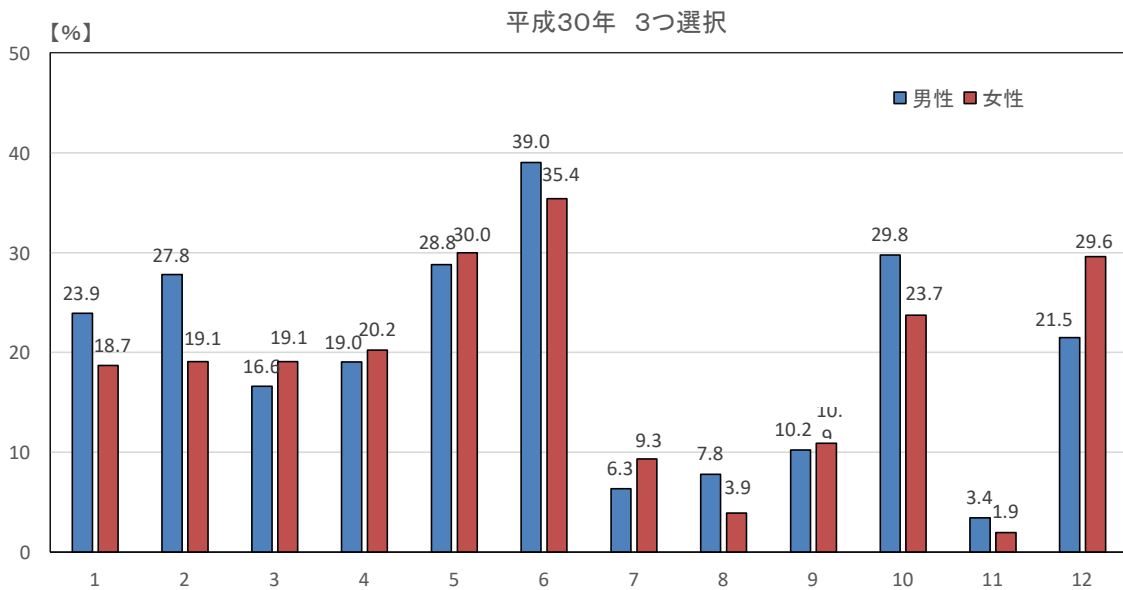
## Ⅳ人権について

問17. あなたはどのようなことに対して女性の人権が尊重されていないと感じますか

(3つ選択)

3つ選択

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
男性	28.9	16.3	26.3	14.2	32.6	34.7	5.3	5.8	8.9	35.3	2.1	23.7
(前回比)	5.0	-11.5	9.7	-4.8	3.9	-4.3	-1.1	-2.0	-1.3	5.5	-1.3	2.2
女性	27.0	13.3	29.2	13.7	27.4	30.5	10.6	4.9	12.4	33.2	4.0	24.8
(前回比)	8.3	-5.8	10.1	-6.5	-2.5	-4.9	1.3	1.0	1.5	9.5	2.0	-4.8



## Ⅳ人権について

- 前回の調査と比較すると、男女ともに「婚姻・戸籍など民法上の制度や慣習からくる差別」や「結婚や離婚による改姓」、「女性に対するストーカー（付きまとい行為）、痴漢行為」の回答が多くなった。
- 男女ともに「女性に対するストーカー（付きまとい行為）、痴漢行為」の回答がもっとも多かった。

17 その他の内容 及び回答者の意見	
・ 家事や子育て、家庭のことを任されること。	30代 女性
・ 題目が男女平等ですが、ほとんど女性の事しか書いてません。	40代 男性
・ 男性のパターンもある。	30代 女性
・ 女性も男性にする。	30代 男性
・ 職場の制服のスカート、ストッキングの色。	50代 女性
・ 政治家の失言、男尊女卑の古い考えの方はやめてほしい。失言ではなくて本音が見えます。	60代 女性
・ 尊重を感じた事がない。	40代 女性
・ 妊娠＝退職という考え方がある。	40代 女性
・ 仕事の内容が同じなのに男性の給料が高い。	70代 女性

### 所見

前回調査同様「セクハラ」や「ストーカー」の人権侵害という意識が高い。また、現在メディアで話題となっている婚姻・戸籍の制度からくる差別について、人権侵害という意識が高くなっているのがうかがえる。

## Ⅳ人権について

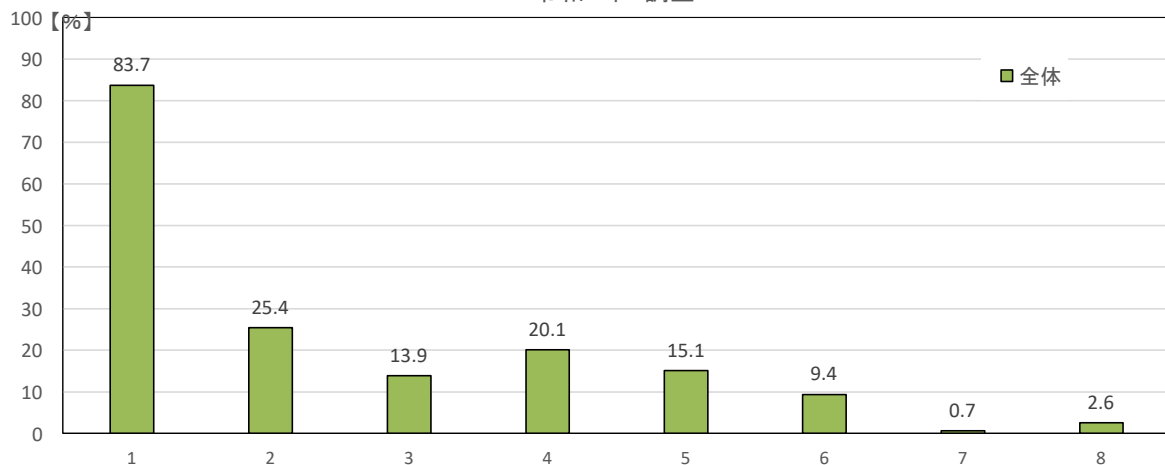
問18. あなたは、配偶者や恋人など親密な関係にある人々からの暴力、いわゆる「ドメスティック・バイオレンス（DV）」について相談窓口があることを知っていますか。

(全て選択)

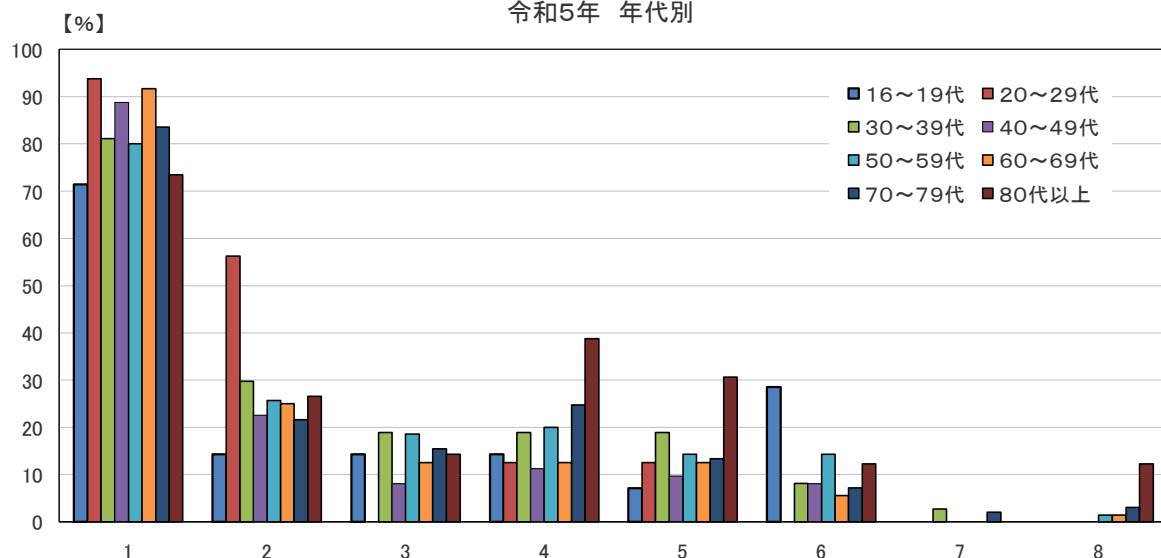
1	警察
2	女性の人権ホットライン（札幌法務局人権擁護部）
3	NPO 法人ウイメンズネット・マサカーネ
4	室蘭市子育て世代包括支援センター
5	胆振総合振興局（環境生活課）配偶者暴力相談支援センター
6	知っているものはない
7	その他
8	無回答

	1	2	3	4	5	6	7	8
全体	83.7	25.4	13.9	20.1	15.1	9.4	0.7	2.6
男性	82.1	23.2	6.3	14.2	12.6	10.5	1.1	2.6
女性	85.0	27.4	20.4	25.2	17.3	8.4	0.4	2.7

令和5年 調査



令和5年 年代別



## Ⅳ人権について

- 相談窓口として、「警察」がもっとも回答が多く、次に「女性の人権ホットライン（札幌法務局人権擁護部）」、「室蘭市子育て世代包括支援センター」と続いた。
- 年代別に見ても、「警察」がどの年代でも一番回答が多かった。

18 その他の内容 及び回答者の意見	
・ 多くの方は知らないので市政だよりにSOSでおしえてほしい。	70代 女性
・ 聞いたことはあるが全て詳細は知らない。	30代 男性
・ 窓口があるのは知っている。どこかは知らない。	70代 男性

所見
年代別でみても一番認知があるのは、警察という結果になった。警察以外の窓口があまり相談窓口として認知されてないことがうかがえる。



## Ⅳ人権について

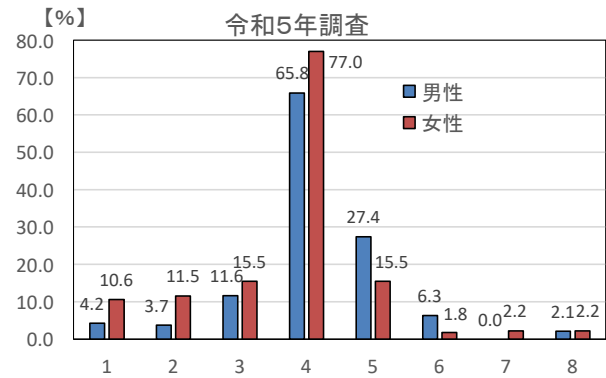
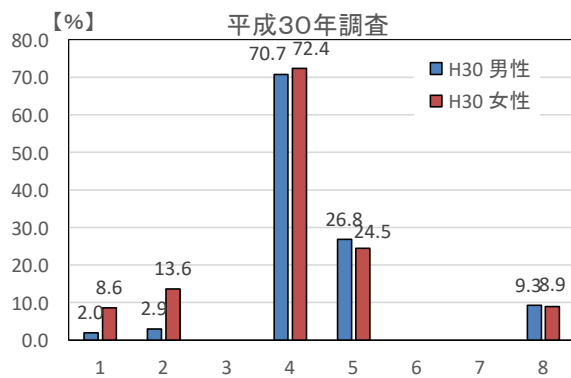
問19. あなたは、「ドメスティック・バイオレンス（DV）」について、経験したり、見聞きしたりしたことがありますか。

(全部選択)

1	自分が直接経験したことがある
2	相談を受けたことがある
3	相談を受けたことはないが、当事者を知っている
4	テレビや新聞などで問題になっていることは知っている
5	見聞きしたことはない
6	わからない
7	その他
8	無回答

	1	2	3	4	5	6	7	8
男性	4.2	3.7	11.6	65.8	27.4	6.3	0.0	2.1
(前回比)	2.3	0.8		-4.9	0.5			2.1
女性	10.6	11.5	15.5	77.0	15.5	1.8	2.2	2.2
(前回比)	2.1	-2.1		4.6	-9.0			2.2

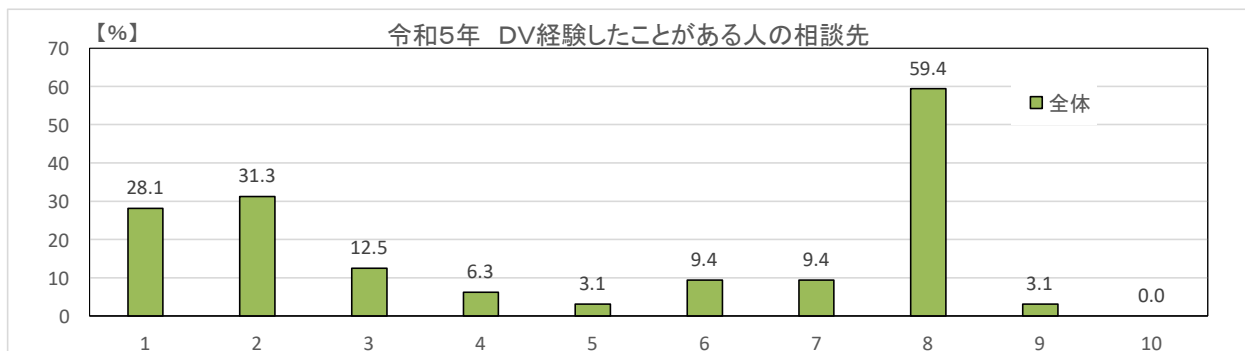
※設問3・6・7は、R5新規項目



問20. 19で「1 自分が直接経験したことがある」と答えた方にお伺いします。あなたは、ドメスティック・バイオレンス（DV）について、どこに相談しましたか。

(全部選択)

1	家族・親族
2	友人・知人
3	警察
4	医師
5	弁護士
6	行政の相談機関
7	民間の相談機関
8	相談しなかった
9	その他
10	無回答

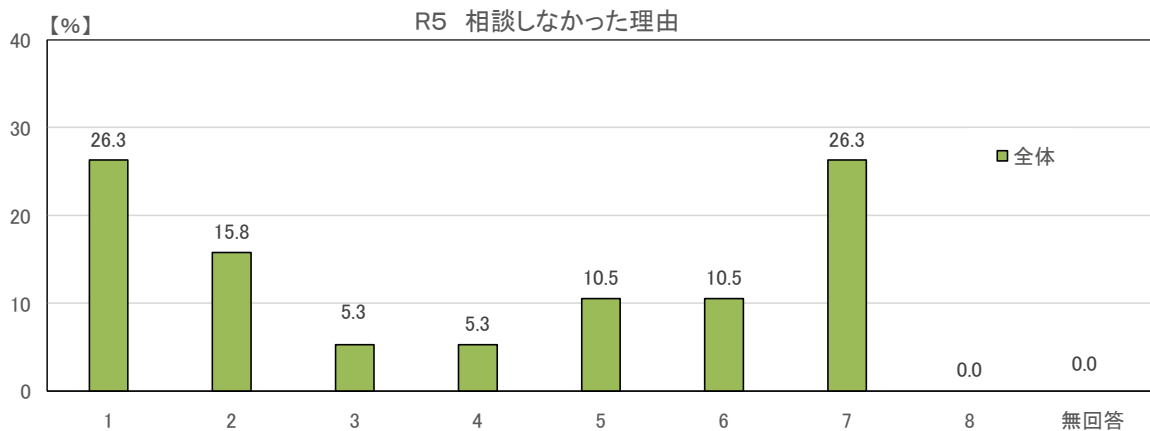


## Ⅳ人権について

問21. 20で「8 相談しなかった」と答えた方にお伺いします。相談しなかった（できなかった）のはなぜですか。  
(1つ選択)

1	どこ（誰）に相談してよいのかわからなかったから
2	恥ずかしくて誰にも言えなかったから
3	相談しても無駄だと思ったから
4	相談したことが相手にわかると、仕返しされたり、もっとひどい暴力を受けたりすると思ったから
5	自分さえ我慢すればなんとかこのままやっていけると思ったから
6	自分にも悪いところがあると思ったから
7	相談するほどのことではないと思ったから
8	その他
9	無回答

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
全体	26.3	15.8	5.3	5.3	10.5	10.5	26.3	0.0	0.0



- 前回調査と比較して、自身が被害にあった割合は微増した。
- 被害にあった人の相談先として、「友人・知人」が一番多かったが、「相談しなかった」がもっとも多い結果となった。
- 相談しなかった理由として、「どこ（誰）に相談してよいのかわからなかったから」「相談するほどのことではないと思ったから」がもっとも回答が多かった。

### 19 その他の内容 及び回答者の意見

・ 運転中、信号待ちの際、女性（年配）が、ご主人と思われる方から暴力をふるわれていた。（警察に通報すべきだったと、後悔している）	50代	女性
・ 昔は当たり前だと思っていた。	30代	女性
・ 対象者と仕事上で関わったことはある。	40代	女性
・ 子どもに教育として手を上げた	40代	女性
・ 母が被害者だった。警察も呼んだこともある。	50代	女性

### 20 その他の内容 及び回答者の意見

・ だれでもやると思っていたので大ごとにしなかった。	30代	女性
----------------------------	-----	----

### 所見

DV（ドメスティック バイオレンス）は関心が高くなっている一方、被害は増えている状況がうかがわれる。また、どこに相談すれば良いかわからないという人もおり、相談窓口の周知が行き届いてないことがうかがわれる。

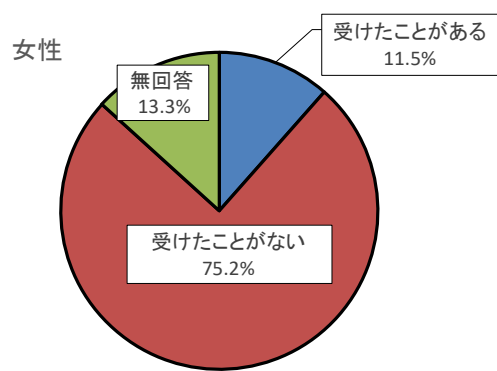
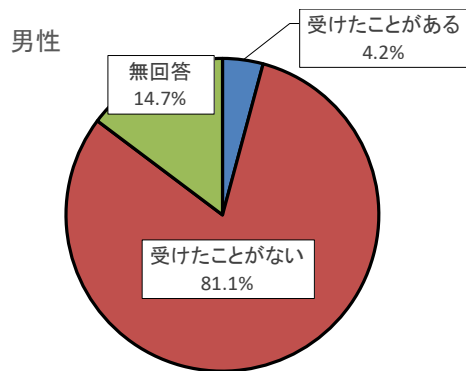
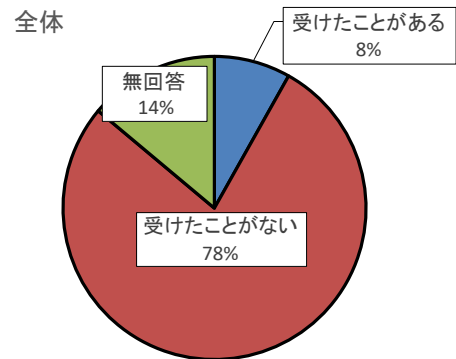
## Ⅳ人権について

問22. あなたは、この3年の間に職場や日常生活で、セクシュアル・ハラスメントと思う行為を受けた経験がありますか。

(1つだけ選択)

1	受けたことがある
2	受けたことがない
3	無回答

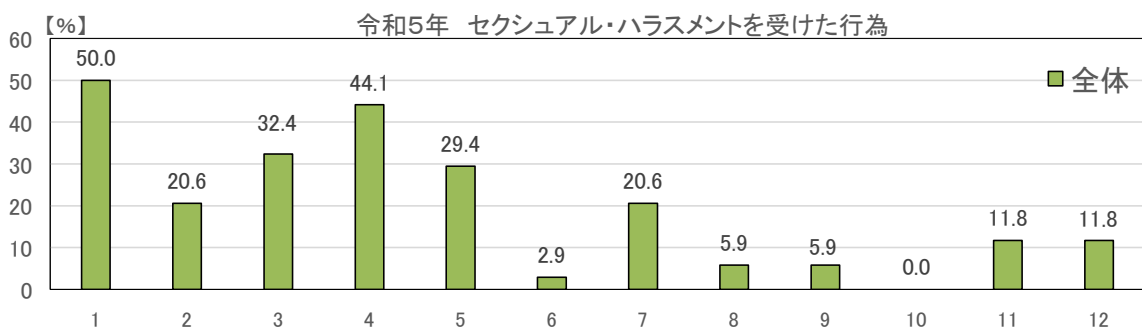
	受けたことがある	受けたことがない	無回答
全体	8.2	77.9	13.9
男性	4.2	81.1	14.7
女性	11.5	75.2	13.3



問23. 22で「1 受けたことがある」と答えた方にお伺いします。あなたが受けた行為は、どのような行為ですか。

(全て選択)

1	「女のくせに」「女だから」または「男のくせに」「男だから」などと言われた
2	酒席などでお酌等を強要された
3	異性との交際、結婚や出産など、プライベートなことについて不必要に聞かれた
4	容姿や年齢について不必要に話題にされた
5	性的な話や冗談を聞かされた
6	性的な噂を立てられた
7	不必要に身体を触られた
8	性的な内容の手紙やメール、電話を受けた
9	交際・性的な関係を強要された
10	性別を理由として不本意な服装等を強制された
11	その他
12	無回答



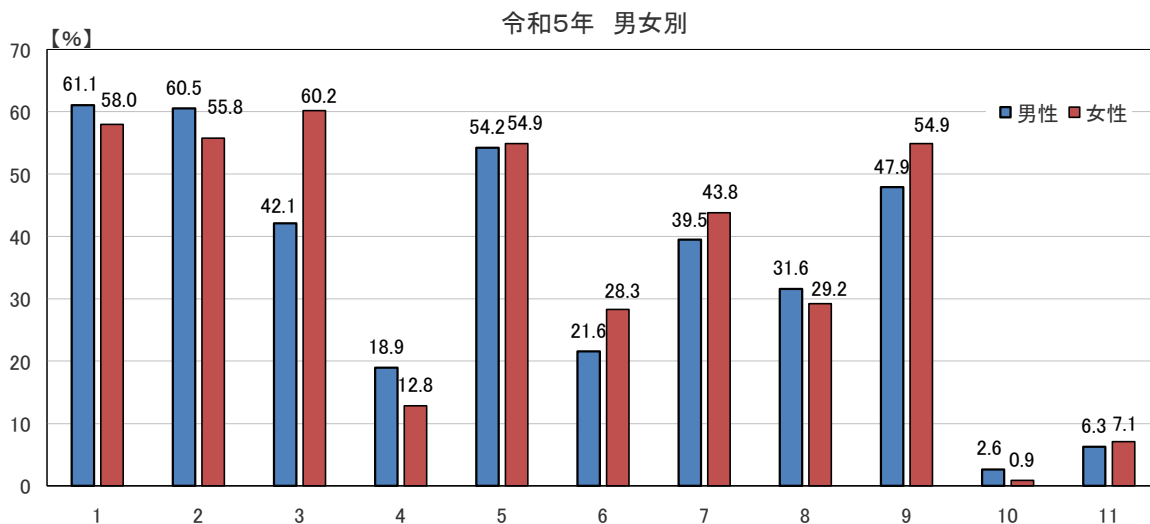
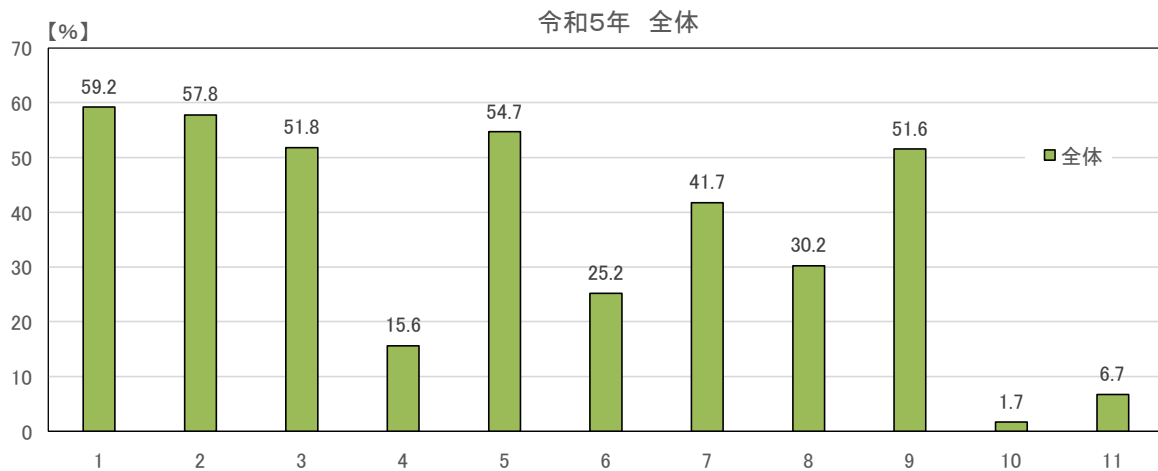
## Ⅳ人権について

問24. あなたは、性的嫌がらせや暴力などの被害者支援にどのようなことが必要だと思いますか。

(全て選択)

1	法律・制度の制定や見直しを行う
2	犯罪の取り締まりを強化する
3	捜査や裁判で女性担当者を増やし被害を届けやすくする
4	被害者を支援し、暴力に反対する市民運動を盛り上げる
5	被害者のための相談所を整備する
6	家庭での男女平等や性教育を充実する
7	学校での男女平等や性教育を充実する
8	メディア側が倫理規定を強化したり、過激なDVD・ゲームなどの販売や貸し出しを制限する
9	加害者の処罰や更生について体制を強化する
10	その他
11	無回答

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
全体	59.2	57.8	51.8	15.6	54.7	25.2	41.7	30.2	51.6	1.7	6.7
男性	61.1	60.5	42.1	18.9	54.2	21.6	39.5	31.6	47.9	2.6	6.3
女性	58.0	55.8	60.2	12.8	54.9	28.3	43.8	29.2	54.9	0.9	7.1



## Ⅳ人権について

- 全体に対して8%がセクシュアル・ハラスメントを受けたことがあると回答。
- 「「女のくせに」「女だから」または「男のくせに」「男だから」などと言われた」と回答が多かった。
- 被害者支援として、「法律・制度の制定や見直しを行う」「犯罪の取り締まりを強化する」という回答が多かった。

### 23 その他の内容 及び回答者の意見

・若いころは、ほぼ全てあった。どの職場でもあたりまえだと思っていた。	30代 女性
・バカヤロー、このやろうとののしられる。	50代 女性
・大なり小なり話題になる。	30代 男性
・結婚を機にパートにさせられ、出産を機に退職させられた。	30代 女性

### 24 その他の内容 及び回答者の意見

・厳罰化すべきです。このような行動をコミュニケーションだと言う男性は多い。	30代 女性
・人間は、昔から新しいメディアを目の敵にしたがる。“小説”、“テレビ”、etc...	30代 男性
・性的嫌がらせや暴力に対する認識、解決法がいくつか提示されている。広告やメディアなどで伝える。	50代 男性
・被害者の心のケア、身を守るための行動支援。	50代 女性
・罰をしてもあまり効果がないので、現状は性的刺激のない服装が予防策。	40代 男性
・見張りをつけてもらい徹底的にガードしてもらう。	50代 男性

### 所見

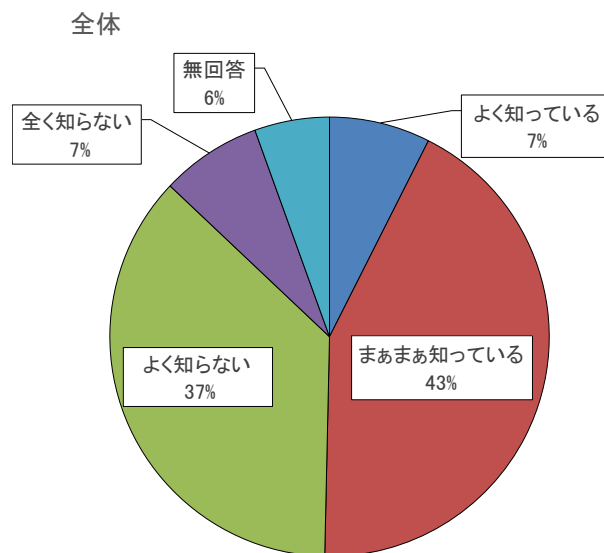
セクシャル・ハラスメントといった言葉はメディアで取り上げられることが増えているが、未だに被害者が出てることがうかがえる。被害者支援としては、法律・制度などの厳罰化を望むことがうかがえる。

## Ⅳ人権について

問25. 性的少数者（セクシャルマイノリティ）について、どの程度知っていますか。

（1つだけ選択）

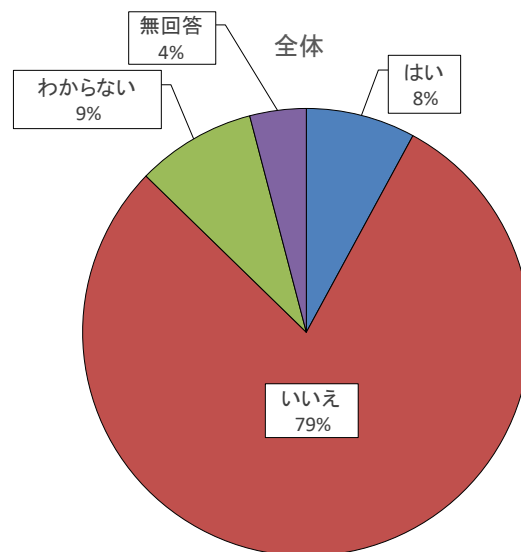
1	よく知っている
2	まあまあ知っている
3	よく知らない
4	全く知らない
5	無回答



問26. あなたは性的少数者の人と関わった経験はありますか。又は、あなた自身が性的少数者ですか。

（1つだけ選択）

1	はい
2	いいえ
3	わからない
4	無回答



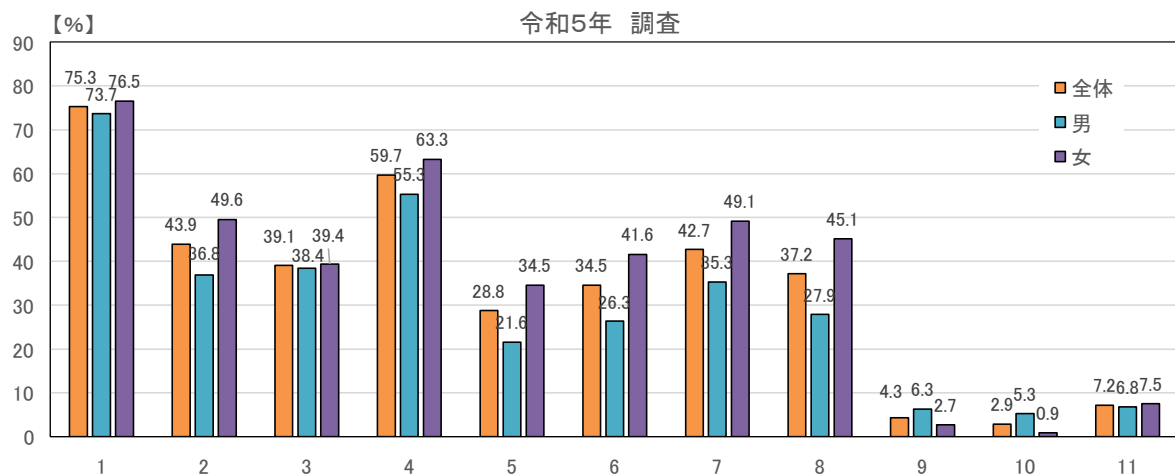
## Ⅳ人権について

問27. 性的少数者は偏見や差別等に苦しめられている現実があります。このような性的少数者の生きづらさを解決するためには何が必要だと思いますか。

(全て選択)

1	性的少数者に対する社会的な理解
2	婚姻に準ずるパートナーシップ制度の導入
3	相談窓口の設置
4	性の多様性についての学校教育
5	性の多様性についての家庭教育
6	申請書や届出書など各種書式の性別欄の改善
7	職場や学校等のトイレや更衣室の改善
8	職場や学校等の制服の改善
9	特に必要なことはない
10	その他
11	無回答

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
全体	75.3	43.9	39.1	59.7	28.8	34.5	42.7	37.2	4.3
男	73.7	36.8	38.4	55.3	21.6	26.3	35.3	27.9	6.3
女	76.5	49.6	39.4	63.3	34.5	41.6	49.1	45.1	2.7



- 性的少数者ということについて「知っている」が全体の50%となった。
- 性的少数者と関わったことがある、又は、自身が性的少数者と回答したのが、全体の8%となった。
- 男女ともに性的少数者の生きづらさの解消のために「性的少数者に対する社会的な理解」という回答がもっとも多く、次いで「性の多様性についての学校教育」という回答が続いた。

## Ⅳ人権について

27 その他の内容 及び回答者の意見		
・ 相談はしづらいので教育や設備を充実させるべき。	30代	女性
・ いつから多様性というものを日本は考えだしたのか。ネット等で調べると実にうさん臭いです。ポリコレはだれがよろこびますか。	40代	男性
・ 男女平等などという考えからがあるうちはこの問題は解決しないと思う。	50代	男性
・ 自由です。	30代	男性
・ 「少数」ということで逆に目立ってしまう。「小数」としてしまうと、いろんな「少数」があるのだから、同一視とかでなく、とり立てない方がいい。	70代	男性
・ わからない	30代	男性
・ 私は考えたことはない。	80代	男性
・ 誰もが何かしらの生きづらさを抱えている。性的少数者に限定して行うことではない。	40代	女性
・ LGBTが正しいという認識が間違い。違う病としてケアしていくべき。	40代	男性
・ テレビ等で活躍している人もおり、生きづらさはいろんな人が多々感じていると思います。	50代	男性
・ パートナーシップということが差別ではないか。普通に婚姻でよいのではないか。	40代	男性
・ 性的少数者である事を声高に叫ばない。	70代	男性

### 所見

性的少数者といった言葉はメディアで取り上げられることが増えており、関心の高さがうかがえる。又、社会的な理解が必要なことから、多様性についての教育を重要視することがうかがえる。



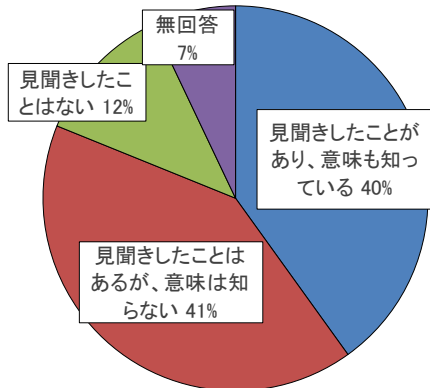
## V 男女平等参画社会の実現について

問28. 次の言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものはどれですか。

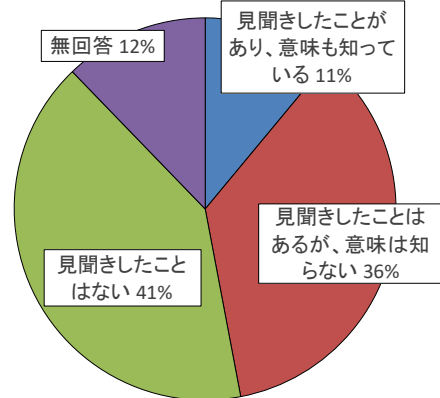
(1つだけ選択)

1	見聞きしたことがあり、意味も知っている
2	見聞きしたことはあるが、意味が知らない
3	見聞きしたことはない
4	無回答

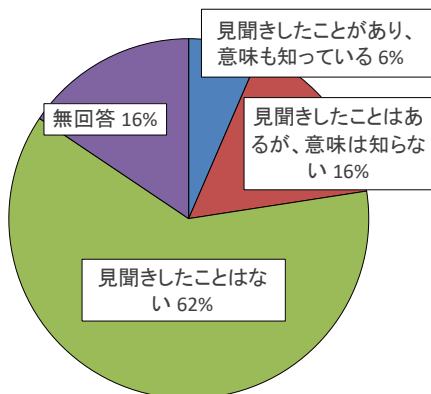
男女平等（共同）参画社会



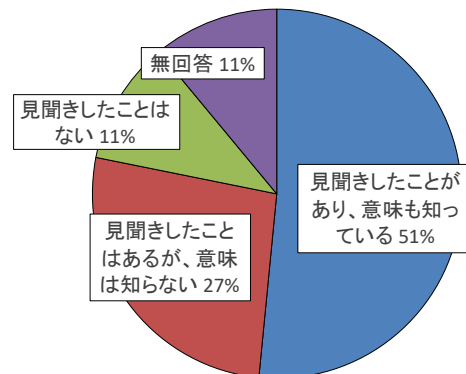
室蘭市男女平等参画基本計画



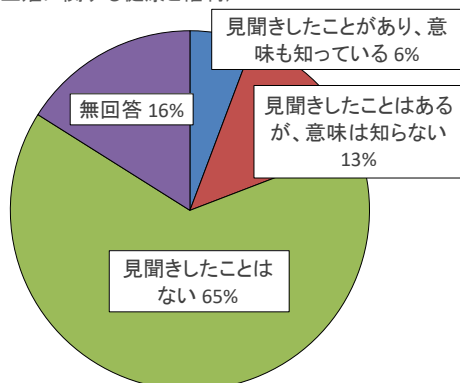
ポジティブ・アクション（積極的改善措置）



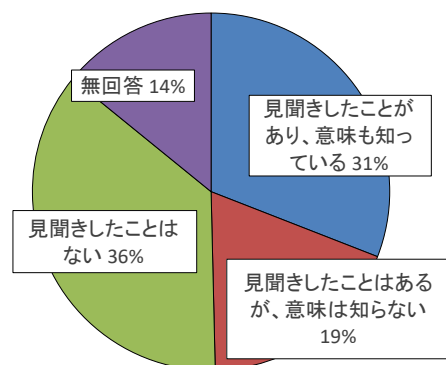
ジェンダー（社会的・文化的につくられた性別）



リプロダクティブ・ヘルス/ライツ  
(性と生殖に関する健康と権利)

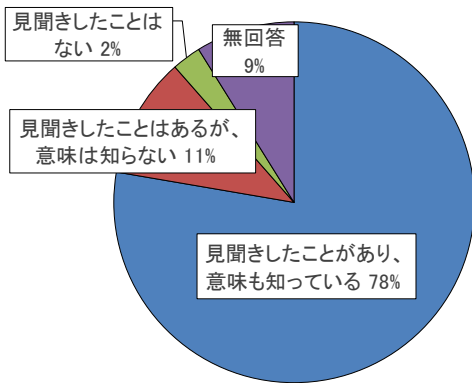


ワーク・ライフ・バランス  
(仕事と生活の調和)

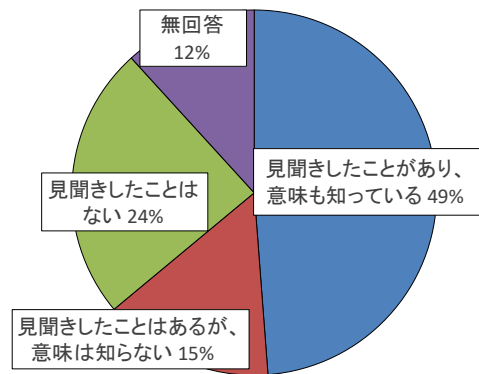


# V 男女平等参画社会の実現について

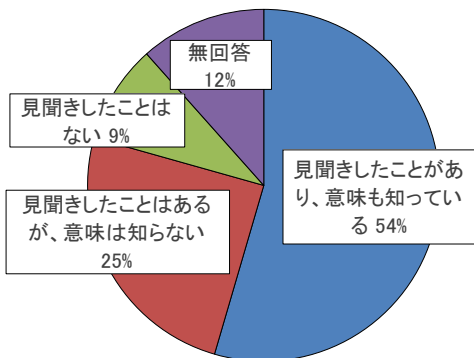
ドメスティック・バイオレンス  
(配偶者からの暴力)



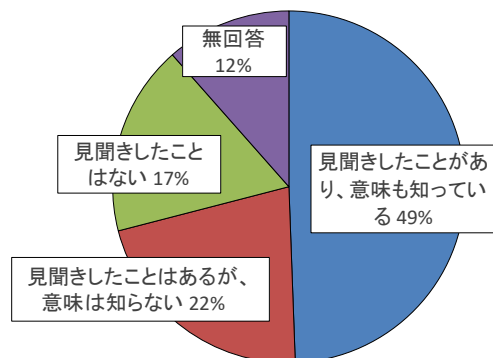
デートDV(交際相手からの暴力)



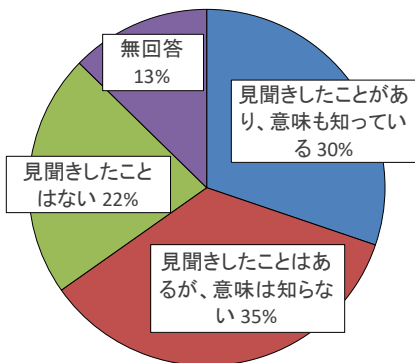
性的少数者(セクシャルマイノリティー)



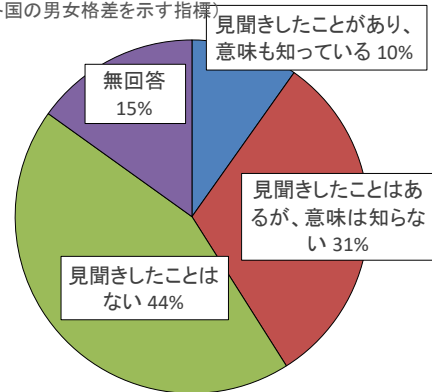
LGBTQ(性的マイノリティーを表す総称)



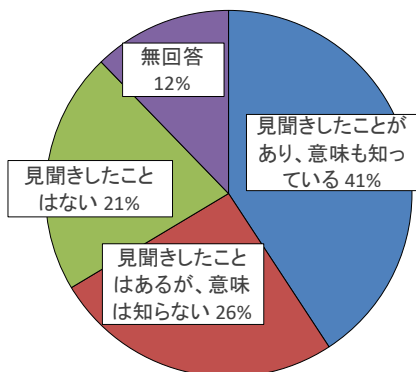
パートナーシップ制度



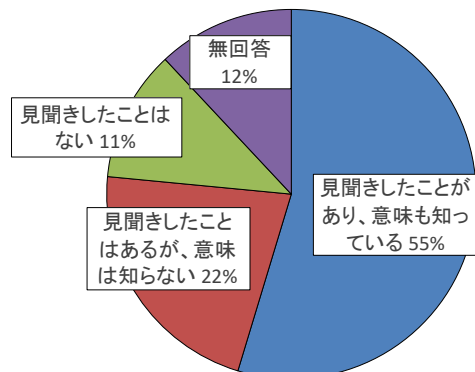
ジェンダーギャップ指数  
(世界各国の男女格差を示す指標)



SDGs(持続可能な開発目標)



選択的夫婦別姓



## V 男女平等参画社会の実現について

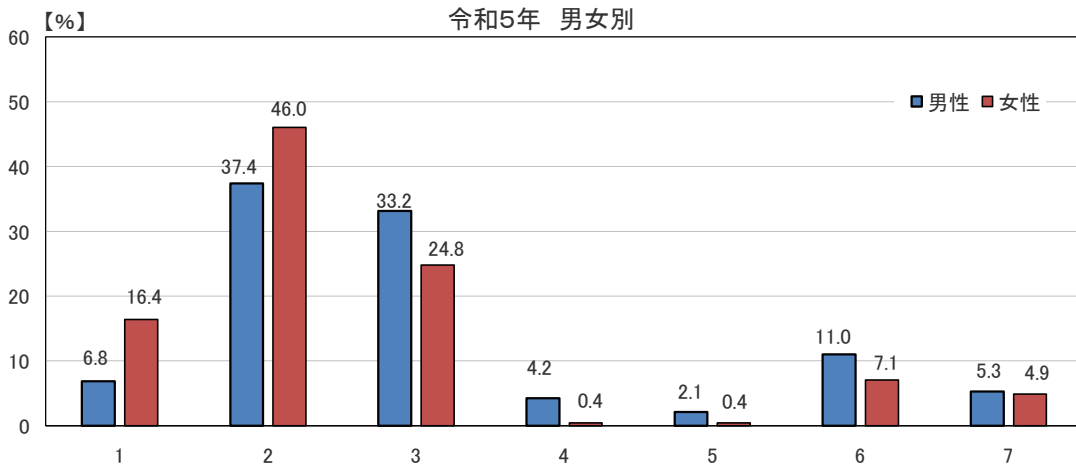
問29. あなたは次にあげる項目において、男女は平等になっていると思いますか。

(1つだけ選択)

1	男性の方が優遇されている
2	どちらかといえば男性が優遇されている
3	平等になっている
4	どちらかといえば女性が優遇されている
5	女性の方が優遇されている
6	わからない
7	無回答

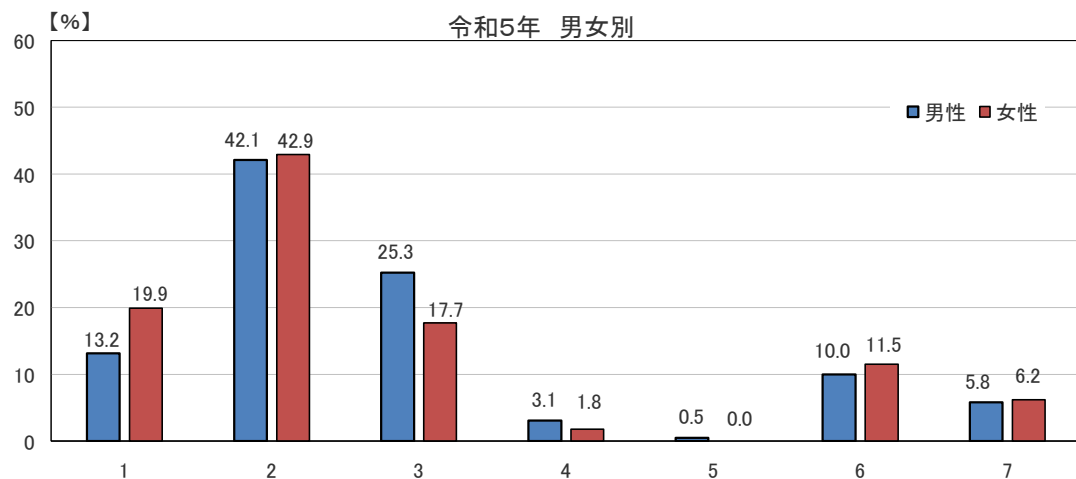
### 1. 家庭生活

	1	2	3	4	5	6	7
男性	6.8	37.4	33.2	4.2	2.1	11.0	5.3
女性	16.4	46.0	24.8	0.4	0.4	7.1	4.9



### 2. 職場

	1	2	3	4	5	6	7
男性	13.2	42.1	25.3	3.1	0.5	10.0	5.8
女性	19.9	42.9	17.7	1.8	0.0	11.5	6.2



## V 男女平等参画社会の実現について

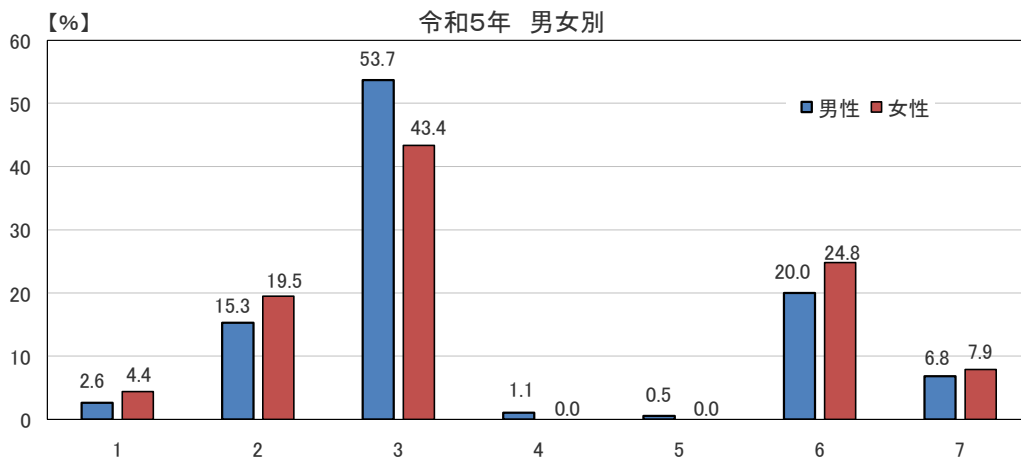
問29. あなたは次にあげる項目において、男女は平等になっていると思いますか。

(1つだけ選択)

1	男性の方が優遇されている
2	どちらかといえば男性が優遇されている
3	平等になっている
4	どちらかといえば女性が優遇されている
5	女性の方が優遇されている
6	わからない
7	無回答

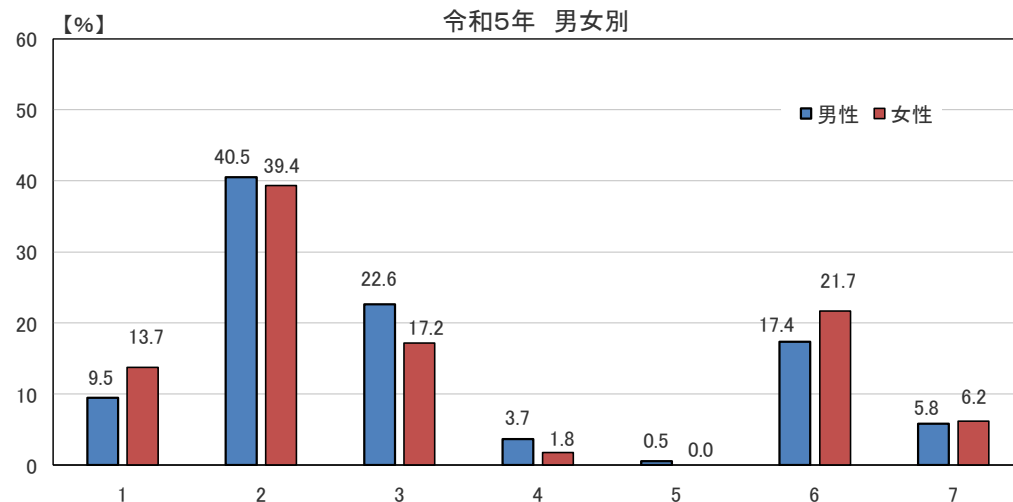
### 3. 学校教育の場で

	1	2	3	4	5	6	7
男性	2.6	15.3	53.7	1.1	0.5	20.0	6.8
女性	4.4	19.5	43.4	0.0	0.0	24.8	7.9



### 4. 地域生活で

	1	2	3	4	5	6	7
男性	9.5	40.5	22.6	3.7	0.5	17.4	5.8
女性	13.7	39.4	17.2	1.8	0.0	21.7	6.2



## V 男女平等参画社会の実現について

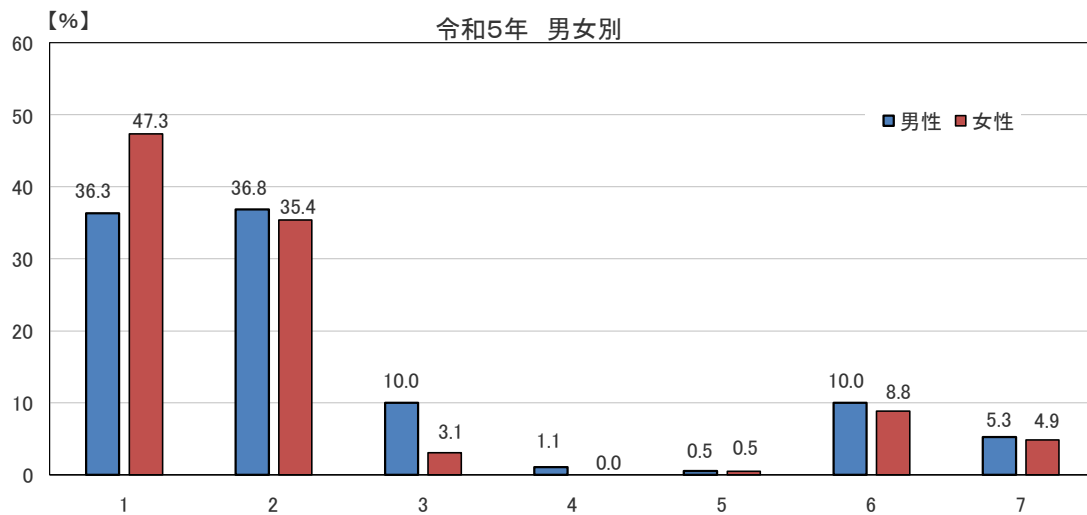
問29. あなたは次にあげる項目において、男女は平等になっていると思いますか。

(1つだけ選択)

1	男性の方が優遇されている
2	どちらかといえば男性が優遇されている
3	平等になっている
4	どちらかといえば女性が優遇されている
5	女性の方が優遇されている
6	わからない
7	無回答

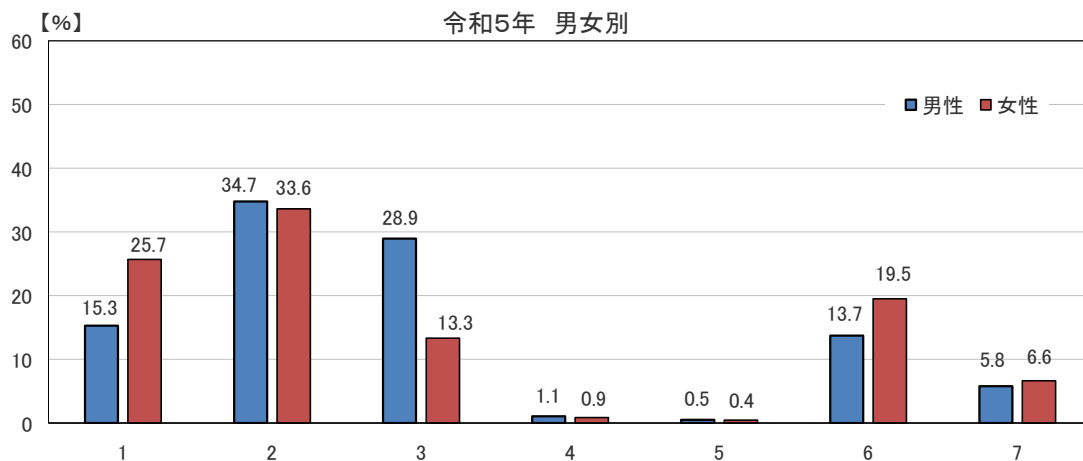
### 5. 政治の場

	1	2	3	4	5	6	7
男性	36.3	36.8	10.0	1.1	0.5	10.0	5.3
女性	47.3	35.4	3.1	0.0	0.5	8.8	4.9



### 6. 法律や制度上

	1	2	3	4	5	6	7
男性	15.3	34.7	28.9	1.1	0.5	13.7	5.8
女性	25.7	33.6	13.3	0.9	0.4	19.5	6.6



## V 男女平等参画社会の実現について

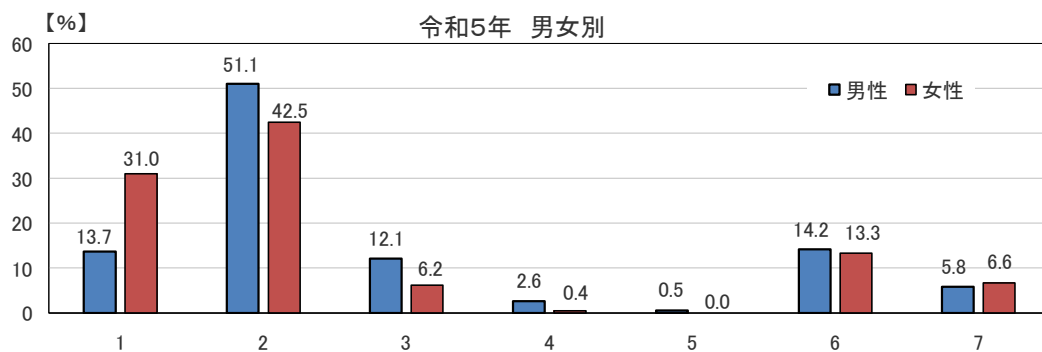
問29. あなたは次にあげる項目において、男女は平等になっていると思いますか。

(1つだけ選択)

1	男性の方が優遇されている
2	どちらかといえば男性が優遇されている
3	平等になっている
4	どちらかといえば女性が優遇されている
5	女性の方が優遇されている
6	わからない
7	無回答

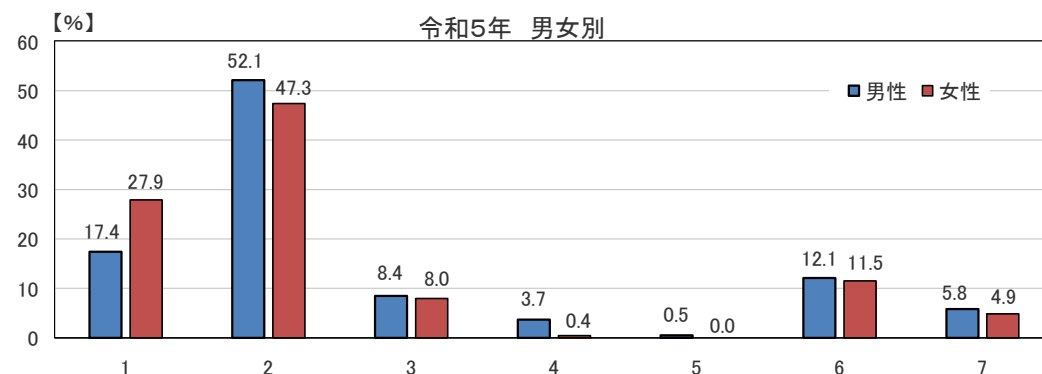
### 7. 社会通念や習慣で

	1	2	3	4	5	6	7
男性	13.7	51.1	12.1	2.6	0.5	14.2	5.8
女性	31.0	42.5	6.2	0.4	0.0	13.3	6.6



### 8. 社会全体

	1	2	3	4	5	6	7
男性	17.4	52.1	8.4	3.7	0.5	12.1	5.8
女性	27.9	47.3	8.0	0.4	0.0	11.5	4.9



- 全体的に「男性優位」という回答が多い。
- 学校教育の場では、「平等になっている」という回答が多い。
- 社会全体では、男女ともに「やや男性優位」という回答が見られる。

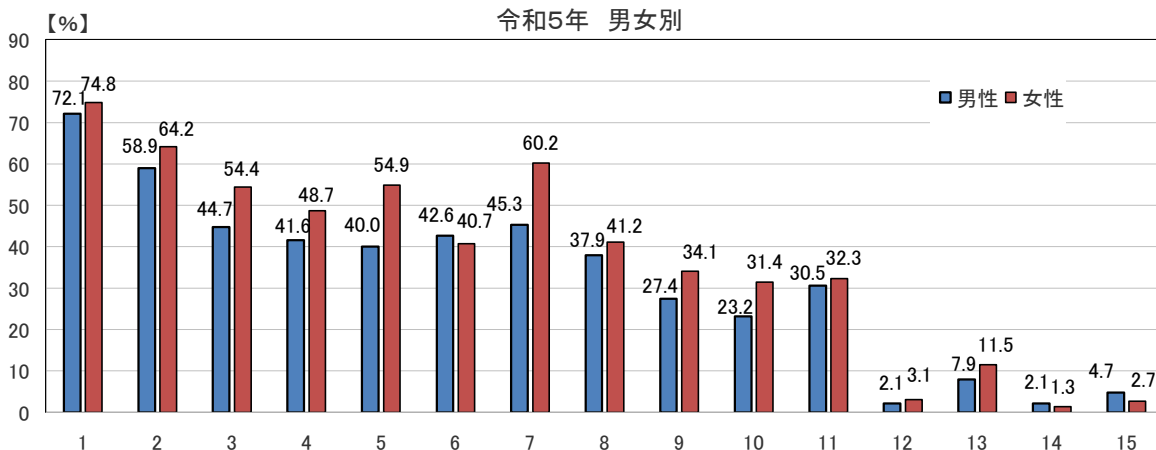
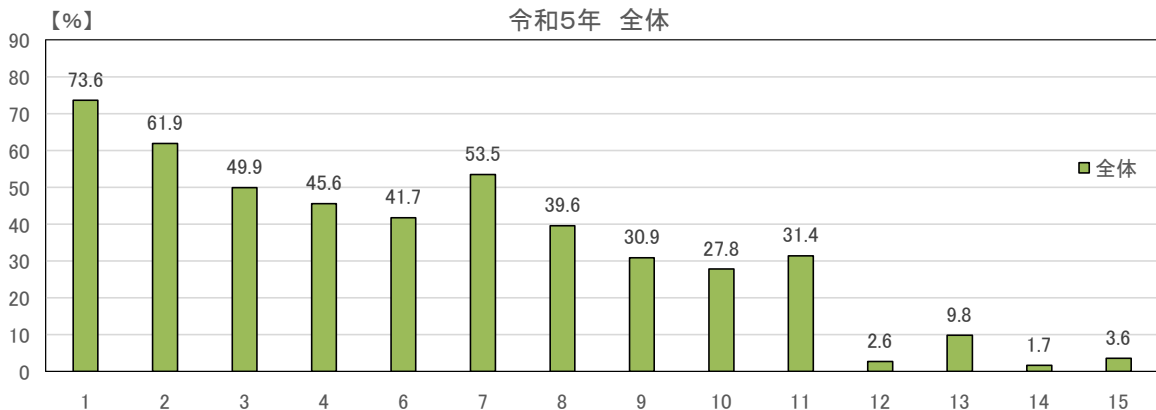
## V 男女平等参画社会の実現について

問30. あなたは、政治や経済分野などにおいて、政策・方針を決定する場に女性の参画が少ない理由について、どのように考えますか。

(全て選択)

1	男性優位の組織運営になっているから
2	性別による男女の役割分担意識が強いから
3	家事・育児・介護などにおける配偶者等(※1)家族の支援が不十分だから
4	上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないから
5	育児・介護に関する公的サービスが不十分だから
6	ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた環境づくりが不十分だから
7	男性の家事・育児参画を進めるための後押しが不十分だから
8	女性自身がリーダー的立場になることを希望しないから
9	現時点では、必要な知識や経験を持つ女性が少ないから
10	キャリア形成支援が不十分だから
11	企業などにおいては、管理職になると広域異動が増えるから
12	特に理由はない
13	わからない
14	その他
15	無回答

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
全体	73.6	61.9	49.9	45.6	48.2	41.7	53.5	39.6	30.9	27.8	31.4	2.6	9.8	1.7	3.6
男性	72.1	58.9	44.7	41.6	40.0	42.6	45.3	37.9	27.4	23.2	30.5	2.1	7.9	2.1	4.7
女性	74.8	64.2	54.4	48.7	54.9	40.7	60.2	41.2	34.1	31.4	32.3	3.1	11.5	1.3	2.7



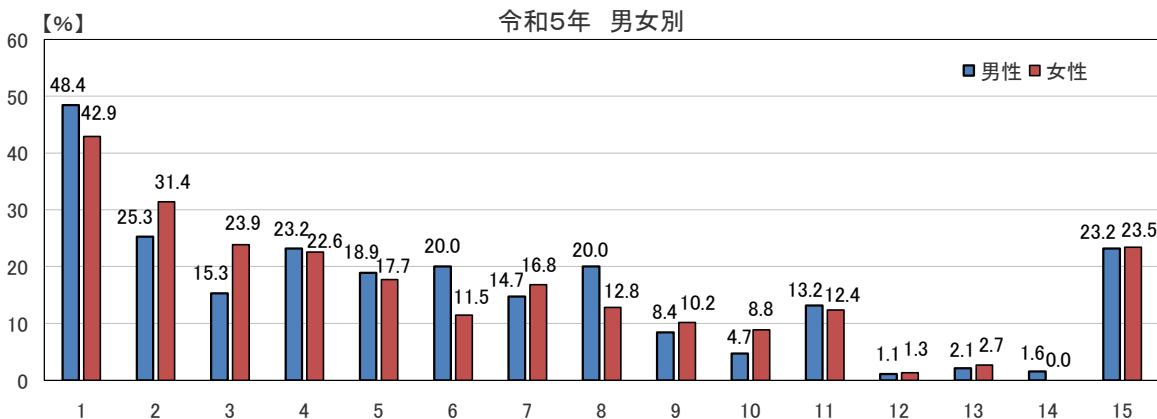
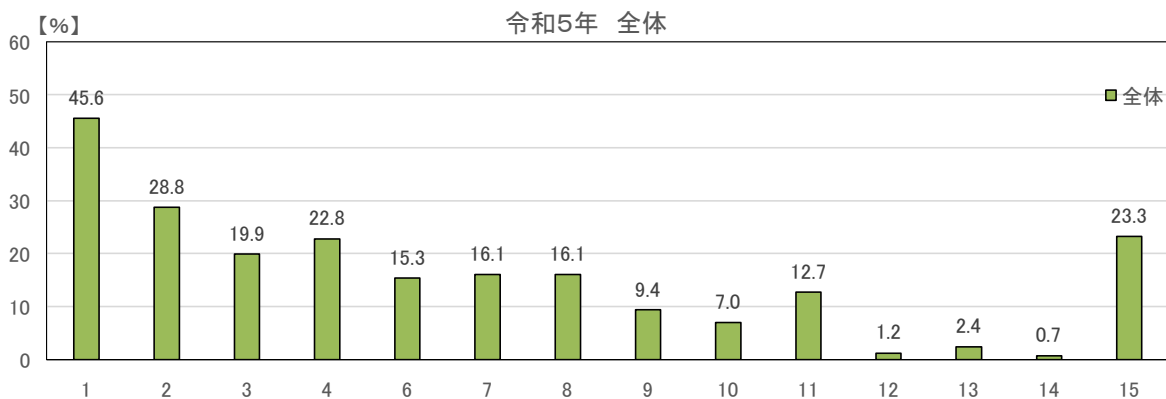
## V 男女平等参画社会の実現について

問30. あなたは、政治や経済分野などにおいて、政策・方針を決定する場に女性の参画が少ない理由について、どのように考えますか。

(3つ選択)

1	男性優位の組織運営になっているから
2	性別による男女の役割分担意識が強いから
3	家事・育児・介護などにおける配偶者等(※1)家族の支援が不十分だから
4	上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないから
5	育児・介護に関する公的サービスが不十分だから
6	ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた環境づくりが不十分だから
7	男性の家事・育児参画を進めるための後押しが不十分だから
8	女性自身がリーダー的立場になることを希望しないから
9	現時点では、必要な知識や経験を持つ女性が少ないから
10	キャリア形成支援が不十分だから
11	企業などにおいては、管理職になると広域異動が増えるから
12	特に理由はない
13	わからない
14	その他
15	無回答

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
全体	45.6	28.8	19.9	22.8	18.2	15.3	16.1	16.1	9.4	7.0	12.7	1.2	2.4	0.7	23.3
男性	48.4	25.3	15.3	23.2	18.9	20.0	14.7	20.0	8.4	4.7	13.2	1.1	2.1	1.6	23.2
女性	42.9	31.4	23.9	22.6	17.7	11.5	16.8	12.8	10.2	8.8	12.4	1.3	2.7	0.0	23.5





## V 男女平等参画社会の実現について

- 男女ともに「男性優位の組織運営になっているから」の回答が一番多かった。
- 「育児・介護に関する公的サービスが不十分だから」、「男性の家事・育児参画を進めるための後押しが不十分だから」が男女別で見ると14.9ポイント差があり、一番差がついた。

### 30 その他の内容 及び回答者の意見

・女性の参加＝ワークライフバランスではない。	30代 女性
・考え方がだめ。	40代 男性
・男女の数が同じじゃないと平等となっていないという意見ではない。	50代 男性
・女性を参画しやすいようPRすべき。	40代 男性
・育児、介護、今の所、公的サービスを受けていないので良くわからない。	70代 男性

### 所見

現代でも男性優位な組織運営になっていることがうかがえる。又、女性の回答として、男性の家事・育児参加を望んでいることがうかがえる。

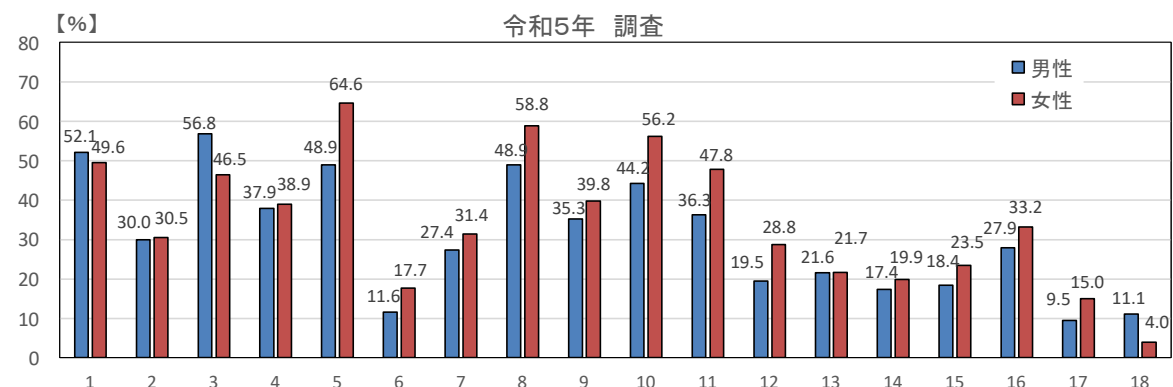
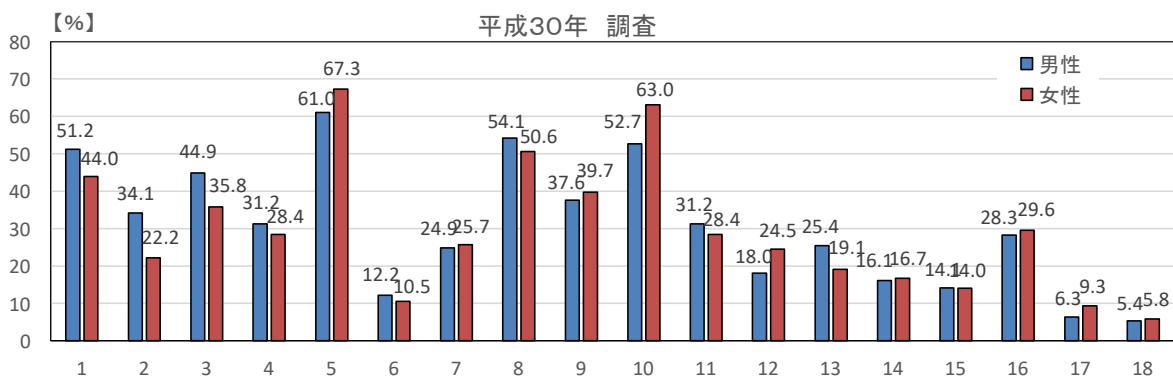
## V 男女平等参画社会の実現について

問31. あなたは、男女共同参画社会を目指すためには、どのようなことが重要だと思いますか。

(全部回答)

1	法律や制度の面で見直しを行う
2	男女平等参画条例や参画計画を策定する
3	審議会・委員会等の委員に女性を積極的に任命する
4	職員の採用や管理職への登用、議員・委員等への任命に、男女の数や比率を定める割当制（クォータ制）を導入する
5	育児・介護休業制度の普及・啓発など仕事と家庭の両立を支援する体制の整備を図る
6	女性の起業家に対して融資などの支援を行う
7	各種団体の女性代表者（リーダー）を養成する
8	職場における男女の格差を解消する
9	女性の就労の場を増やしたり、職業教育・訓練を充実する
10	保育・介護の施設やサービスを充実する
11	学校教育や社会教育の場で男女の平等について学習を充実する
12	女性の健康増進と母性保護を充実する
13	男女平等参画を推進するための活動施設を充実する
14	各国の女性との交流や情報提供など国際交流を推進する
15	男女平等参画について広報紙やパンフレット等で啓発する
16	男女平等参画が進んでいる事業所（育児・介護休暇の取得率等）に配慮する
17	分からない
18	その他・無回答

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
男性	52.1	30.0	56.8	37.9	48.9	11.6	27.4	48.9	35.3	44.2	36.3	19.5	21.6	17.4	18.4	27.9	9.5	11.1
(前回比)	0.9	-4.1	12.0	6.7	-12.0	-0.6	2.5	-5.2	-2.3	-8.5	5.1	1.4	-3.8	1.3	4.3	-0.4	3.1	5.7
女性	49.6	30.5	46.5	38.9	64.6	17.7	31.4	58.8	39.8	56.2	47.8	28.8	21.7	19.9	23.5	33.2	15.0	4.0
(前回比)	5.6	8.4	10.7	10.5	-2.7	7.2	5.7	8.3	0.1	-6.8	19.4	4.2	2.6	3.2	9.4	3.6	5.7	-1.8



## V 男女平等参画社会の実現について

問31. あなたは、男女共同参画社会を目指すためには、どのようなことが重要だと思いますか。

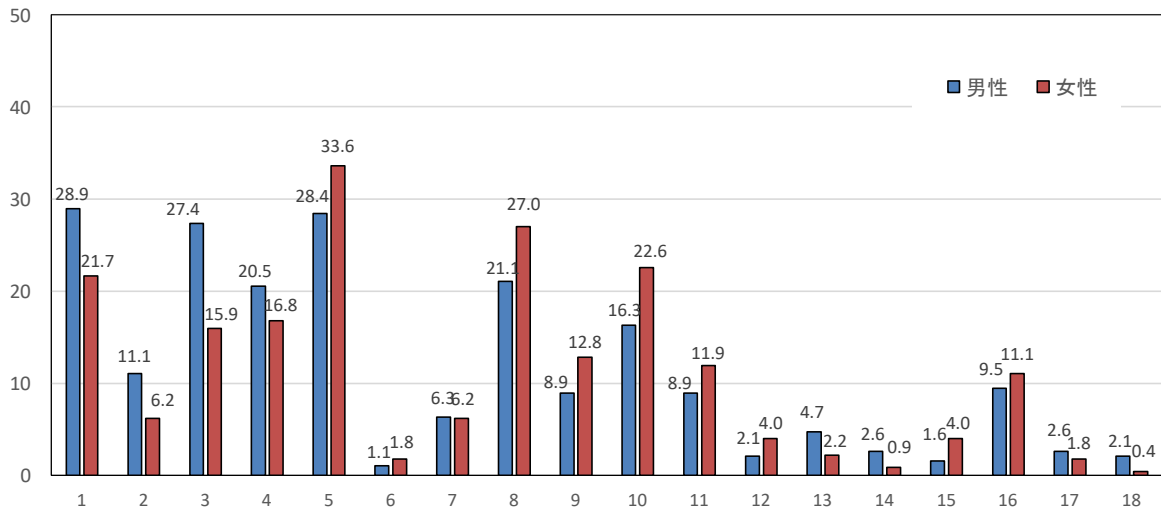
(3つ選択)

1	法律や制度の面で見直しを行う
2	男女平等参画条例や参画計画を策定する
3	審議会・委員会等の委員に女性を積極的に任命する
4	職員の採用や管理職への登用、議員・委員等への任命に、男女の数や比率を定める割当制（クオータ制）を導入する
5	育児・介護休業制度の普及・啓発など仕事と家庭の両立を支援する体制の整備を図る
6	女性の起業家に対して融資などの支援を行う
7	各種団体の女性代表者（リーダー）を養成する
8	職場における男女の格差を解消する
9	女性の就労の場を増やしたり、職業教育・訓練を充実する
10	保育・介護の施設やサービスを充実する
11	学校教育や社会教育の場で男女の平等について学習を充実する
12	女性の健康増進と母性保護を充実する
13	男女平等参画を推進するための活動施設を充実する
14	各国の女性との交流や情報提供など国際交流を推進する
15	男女平等参画について広報紙やパンフレット等で啓発する
16	男女平等参画が進んでいる事業所（育児・介護休暇の取得率等）に配慮する
17	分からない
18	その他・無回答

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
男性	28.9	11.1	27.4	20.5	28.4	1.1	6.3	21.1	8.9	16.3	8.9	2.1	4.7	2.6	1.6	9.5	2.6	2.1
女性	21.7	6.2	15.9	16.8	33.6	1.8	6.2	27.0	12.8	22.6	11.9	4.0	2.2	0.9	4.0	11.1	1.8	0.4

【%】

令和5年 調査



## V 男女平等参画社会の実現について

- 男性では、「審議会・委員会等の委員に女性を積極的に任命する」回答が一番多く、女性では、「育児・介護休業制度の普及・啓発など仕事と家庭の両立を支援する体制の整備を図る」が一番多く回答があった。
- 前回との比較では、「学校教育や社会教育の場で男女の平等について学習を充実する」が24.5ポイント上昇している。
- 全体的に前回調査よりも上昇傾向にある。

### 3.1 その他の内容 及び回答者の意見

・女性だからよいという訳でもないので、誰でも家庭と仕事を両立しやすいようにすべき。	30代 女性
・目指さなくていい。他にもっとやる事があるはず。	40代 男性
・年功序列の格差をなくす。	30代 男性
・女性自身の積極性。	50代 男性
・IT技術・設備のような体力仕事が楽になる。設備の拡充すれば女性の働く場が増える。	20代 男性
・現場作業の待遇改善をする。	40代 男性
・まずは意識することからだと思います。	50代 男性

### 所見

行政に望むところは多岐にわたるが、仕事と家庭の両立を支援する体制の整備が望まれていることがうかがえる。

## 男女平等についての意見

32 要望・意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>パートやアルバイトの最低賃金をもっとあげてください。働いててもやりがいがないです。今は女性も働き、稼がなくては子どもや本人、家族が我慢が必要な最低限の生活しか出来ません。妻の年収上限を上げて、もっと働きやすくしてほしいです。パート賃金をもっとあげてください。夫がたくさん稼ぐ家には関係ないだろうけど、大変な家は大変です。</li> </ul>	10代 女性
<ul style="list-style-type: none"> <li>“子どもの頃から男女ともに家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう、教育や啓発・情報提供を行うというのが非常に良い。法律や制度で進めようとする最終的には数値目標になってしまい、企業に呼びかけても根本的な機運醸成にはつながらない。子どものうちに学んでおくことで、家庭に戻ったときに学校で習う常識とのギャップに気づくので、中長期的にはなりますが目指すべき社会の方に向いていくのではないかと考えます。</li> </ul>	20代 男性
<ul style="list-style-type: none"> <li>男女平等参画社会について話し合わなくていい社会を作るべき。環境は整ってきているのだから個人が行動すれば解決する問題。</li> </ul>	20代 男性
<ul style="list-style-type: none"> <li>育児や家事は2人ですることが当たり前であるという意識を社会全体で共通の物にすることが大事である。</li> </ul>	20代 男性
<ul style="list-style-type: none"> <li>女性も男性もそれぞれ適した役割や仕事がある。全てを平等にすることが互いに良いことにつながるとはかぎらないと考えます。法律や制度などのしくみは平等であるべきですが、一人一人がその時に選択できるというのが大切。</li> </ul>	20代 男性
<ul style="list-style-type: none"> <li>いままで男性職場のところに設備がないのに、女性を雇えば限界がある。女性を受け入れる設備補助が必要。</li> </ul>	20代 男性
<ul style="list-style-type: none"> <li>未だに男性が優遇されている。年配の方に男女平等が根付いてないため、そこに広めてほしい。男性のみならず、女性がよりよく生活できるよう願う。</li> </ul>	20代 男性
<ul style="list-style-type: none"> <li>根本的な解決には、タテの繋がりを廃止し、年功序列や格差をなくさなくてはなりません。</li> </ul>	30代 男性
<ul style="list-style-type: none"> <li>保育施設の充実、女性の給料アップ、休園や、何らかの理由で子どもを預けられない時、収入の少ない女性が子ども見なければいけない風潮になっている気がする。※男性も仕事を休みやすい様な社会を。</li> </ul>	30代 男性
<ul style="list-style-type: none"> <li>共働きしないと生活できないような安給料をどうにかしてほしい。</li> </ul>	30代 男性
<ul style="list-style-type: none"> <li>女性も働きやすい社会作りは賛成だが、家事・育児に専念できる選択もほしい。現状共働きするしかない。</li> </ul>	30代 男性
<ul style="list-style-type: none"> <li>男はだまされてなんぼ、女はだましてなんぼ。</li> </ul>	30代 男性
<ul style="list-style-type: none"> <li>よく「女性の参加率を上げる」「女性リーダーをふやす」と言いますが、女性であれば、家庭的な意見がきけるとか、子供のことを考えられるときまっているわけでもない。女性→子供、家庭のことを男性より考えていると言われることも自体も差別のひとつだと常々思う。本当の平等というのは難しいですが、男性でも女性でもそうじゃない人も、休みが十分にとれ、私生活を充実させられることに尽きる。</li> </ul>	30代 女性
<ul style="list-style-type: none"> <li>制度として男性の育児休暇やパパ育休制度が存在しても、実際の職場では取得できる雰囲気ではない（人員不足もあり）。また、人事・総務課などが把握していても、現場で働く上司などが知識がない（理解がない）と、相談できる手段がない。</li> </ul>	30代 女性
<ul style="list-style-type: none"> <li>室蘭市の大半の企業は未だに昔ながらの体質で女性就労者の立場が弱く、守られていないと感じることが多くある。女性であることを理由に賃金を低く設定されがちである。男性は勤続年数に応じて昇級されることが多いが女性は少ない（そもそも昇級しない）ということも多々ある。企業に向けて、もっと強く意識改善を促す必要がある。</li> </ul>	30代 女性
<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の調査では、女性寄りの質問が多かったように思います。確かに現在は男性優位なことが多いと思いますが、「男性だから強く言っても大丈夫」、「女性には優しい言葉遣いで」ということがまだまだあります。私はトランスジェンダーですが（身体の性は男性）、恋人や結婚のことについて聞かれることが多く、とても苦痛です。そういったことも外見が男性だからということが多くのように思います（偏見かもしれませんが、特に年配の方からが多いです）。ですので、学校教育の場で今回の調査のような内容も含め、未来を担う小さい子供たちへの理解、浸透を図っていただければと思います。男女平等について、社会的な地位や家事、育児、介護等が性別に関係なく、個人として評価されたり、その能力を持った人がやるということに賛成です。私個人の考えですが、「男女が対等に」というのは、それぞれが精いっぱい勉強、仕事、努力をし、それでもどうしてもできない時に行政を頼ったり、様々な制度を利用すべきだと思っています。「何の努力もせずに権利ばかりを主張する」「頑張っている人が報われない」という世の中にはなってほしくないと思います。もちろん室蘭市に対しても同じ思いです。長々と書いてしまひすみませんでした。</li> </ul>	30代 女性
<ul style="list-style-type: none"> <li>結婚すると女性に対して「名字は何になったの？」と聞くのはおかしい。本来名字は夫と妻どちらの姓にするか選べるはずなのに聞かず、実際には男女で相談することもなく「女性が名字を変える」というイメージがついている。WEB上でパスワードを忘れた時などによく使われる「ひみつの質問」でも「母親の旧姓は？」なんて項目があったりする。まずは、結婚しても夫と妻どちらの姓にするかの話し合いをあたりまえにするような意識を。それがムリなら選択的夫婦別姓を。</li> </ul>	30代 女性
<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生の子どもがいます。小学校の行事、参観日、個人懇談やPTAなど平日に休みをとらないと参加できない。参加しないと子どもがかわいそう。休みをとるのは女性が多く子どもの行事や体調不良で休むことが多い。それが仕事や参画に影響する一つでは。学校行事のあり方や子どもの長期体調不良への市のサービスがないと本気で女性が仕事に尽くせない。幼稚園の園長先生に今は仕事をフルよりパートくらいがいいと言われたことがずっと心に残っている。良くも悪くも。</li> </ul>	30代 女性
<ul style="list-style-type: none"> <li>仕事で上にいく機会があったが、職場の異動があり断った。夫婦で単身赴任があり得る仕事の場合、どちらかは仕事をあきらめるしかない。</li> </ul>	30代 女性
<ul style="list-style-type: none"> <li>実際に4月に育児から復帰し、今は職場の理解もあり、なんとか育児と仕事を両方していますが、もし上司や環境が変わったら上手くいかない可能性もある。女性が働かないといけない世の中なので（金銭面的に）そのような環境が広く整備してほしいです。</li> </ul>	30代 女性

## 男女平等についての意見

32 要望・意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>考え方を変えない限り、法律や制度を変えても意味がない。古くさい考え方の人が上にいる限り変わらない。年功序列の昇進ではなく、実力のある人が上に、下から尊敬される人が上に立ち、昇進できる社会にするべき。</li> </ul>	30代 女性
<ul style="list-style-type: none"> <li>結婚し、出産をした今、働きたいのに働けない現状に絶望している。</li> </ul>	30代 女性
<ul style="list-style-type: none"> <li>共働きだと子供がかわいそうという認識がある。女性だけの給料で暮らしていけるなら喜んで主夫になる。</li> </ul>	40代 男性
<ul style="list-style-type: none"> <li>男のことがまったく問にない。平等の意味がわからないのか。ムダなアンケートにしか感じない。</li> </ul>	40代 男性
<ul style="list-style-type: none"> <li>法律や制度の見直しが必要。男女平等参画についての情報がまだまだ少ないと感じる。もっともっと啓発活動していかないとなかなか変わらないのではないだろうか。古い考えの人はまだまだ居ると思うので情報発信はまだまだ必要と考えます。</li> </ul>	40代 男性
<ul style="list-style-type: none"> <li>長期滞在外国人の人数規制</li> </ul>	40代 男性
<ul style="list-style-type: none"> <li>身体、脳の構造が明確に違う以上、平等を言うのは不可能。兵士や警官は男性の方が適任。平等というなら女性が同数戦場に行くのか。</li> </ul>	40代 男性
<ul style="list-style-type: none"> <li>男女関係なく、一人の人間として見る意識を一人一人が持っていくことが重要であると考える。</li> </ul>	40代 男性
<ul style="list-style-type: none"> <li>中高年ほど「男女平等」と言うが、この年代ほどできていない。この年代が意識改革が必要であり、それができないのであれば口を出さずに、若年層を中心にしてみせさせる。その結果、良いところを取り入れ、改善するところはどのように改善していくかを当初とは違う若年達に意見を聞きやってみる。失敗してもよいので色々なことを試してみることで、進めることができる。</li> </ul>	40代 男性
<ul style="list-style-type: none"> <li>寛容と強制を同じ尺度で考えてる人が多い</li> </ul>	40代 男性
<ul style="list-style-type: none"> <li>男女平等にするのは良い事だとは思いますが、力仕事は必ず男性中心になってしまいます。その事が問題点がある。</li> </ul>	40代 男性
<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの人にLGBTを知ってもらいたい。</li> </ul>	40代 女性
<ul style="list-style-type: none"> <li>結婚したら扶養控除内でのパート、夫の給料が高くても安くても、妻は同じ108万は納得いかないです。夫婦合わせての収入にならないのか。</li> </ul>	40代 女性
<ul style="list-style-type: none"> <li>先ず生涯学習課の方は、どのように進めたらよい、進めるべきと思っているのか知りたいです。</li> </ul>	40代 女性
<ul style="list-style-type: none"> <li>24時間体制もしくは夜間保育所があればシフト勤務制（夜勤あり）の女性も働きやすくなるのでは。（保育所だけでなく学童保育も）</li> </ul>	40代 女性
<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の教育自体が遅れている。学校での性教育でも家庭のあり方についてのことを勉強以上にきちんと学ばせるべき。政治についても政治家自体が老人しかいないので頭のかたい昔の考えの人ばかりにかたよっているからもっと若い人に参加させた方がよい。（男の人が多から差別発言で炎上したりするし）仕事についてもパートという枠や扶養、税金のことがあるので好きな仕事につくことができない。本当に男女平等というのなら法律や民法からかえていくしかない。</li> </ul>	40代 女性
<ul style="list-style-type: none"> <li>男性には潜在意識の中に女性より偉いと女性を見下している。そんな男性達が男女平等の組織を作れるわけがない。国の義務として新生児と丸一日2人きりで過ごす等女性側の経験をさせなければ女性が求めている手助けを男性がわかることはない。</li> </ul>	40代 女性
<ul style="list-style-type: none"> <li>この数年で今までの「男」や「女」という価値観が変わってきたように感じますが、今まで疑うこともなかったような当たり前の性差を今一度考えてみる必要性を感じる。差別と違って思っていなかったことが差別にあたることもあるため、今一度中年層以降の人への再教育の機会というか、認知の機会をもつことがまず大切なのでは。自認する性別が「男」でも「女」であってもどんな人にも両面の性質はある。男性と女性がそれぞれの性を前提にし、歩み寄りというよりも、例えば小学生など小さいうちに個人を尊重するような教育をする、ジェンダーレスな雰囲気を作る等、これからの子ども達への教育を充実させると良いのでは。</li> </ul>	40代 女性
<ul style="list-style-type: none"> <li>2004年に室蘭市男女平等参画基本計画を策定し、これに基づいて様々な施策を実施しておりますが、計画の中身も実施している内容も知りません。勉強不足なのかもわかりませんが、市民に伝わっているのか疑問に感じます。</li> </ul>	40代 女性
<ul style="list-style-type: none"> <li>子どものためにお金のためになかなか離婚に踏み出せない人がいる。</li> </ul>	40代 女性
<ul style="list-style-type: none"> <li>男女が平等になるためには、一人一人が自身は一人の人間として、しっかりとした個を持ち、精神的に自立すること。自分がどういう人間なのか自身で確認し、必要とあればそれをきちんと意見すること。何事においても、自身の考えを持たないとダメ。特に、私の個人的意見ですが、会社などで女性の役職上のポジションが少ない会社などは、女性が男性に比べて、知情意や冷静さが少ないからなのでは。と感じます。優秀な女性であれば、必ず必要とされ、自然な形で活躍をするのではないかと感じることがあります。</li> </ul>	40代 女性
<ul style="list-style-type: none"> <li>女性が社会に出られるように自治体でできることから始めてほしい。出産は女性にしかできず、職から離れる、復職しても体調面の問題も女性にはある。保育所など入所など体制づくりは必須。</li> </ul>	40代 女性
<ul style="list-style-type: none"> <li>古くさい政治家、老害の政治家を一掃して体制を一新する。</li> </ul>	50代 男性
<ul style="list-style-type: none"> <li>根気強くやってほしい。</li> </ul>	50代 男性
<ul style="list-style-type: none"> <li>男性で生まれてきたことに不便に思っている人もいます。</li> </ul>	50代 男性
<ul style="list-style-type: none"> <li>女性は、肉体的に男子に劣る面があり、社会において男性はそれをカバーするのが当然。お互い男女の役割を尊重するのが当然。DVなどは、言語同断である。性的マイノリティーも10年後評価が逆転してるかもしれない。</li> </ul>	50代 男性

## 男女平等についての意見

32 要望・意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>昔ながらの“昭和”的な考えが根深くあり、“平等”やよく言われる“女性管理職が30%”など、今でもしっかりこない。そもそも“男女平等”は簡単なことでもなく、“差”があって（いろいろな面で）当たり前。推進をしている中で逆行した意見で申し訳ありません。</li> </ul>	50代 女性
<ul style="list-style-type: none"> <li>障害を持つ母親は働くこともできずにいる。発達障害、ADHD等では養護学校にも行けず、支援組にしか通室できずにいて働けない。これからはこういった障害を持つ母親への支援が必要。</li> </ul>	50代 女性
<ul style="list-style-type: none"> <li>私は現在52歳ですが、「LGBTQ」今こそこの言葉になったものの、昔々から自分の性について悩んでいる人はたくさんいました。私はノーマルの女性ですが男女問わず更衣室、トイレ、プール授業、公衆浴場、修学旅行の部屋の割り振り等、昔に比べ良くなって来ているとは言え、現実はまだまだと言った所です。実際LGBTQの友人も多く、今でも集まってお茶しながらその話題に触れる機会も多いです。経験や体験は当事者それぞれエピソードを持っています。男女平等と共にセクシャルマイノリティに関しても前進してくれる室蘭になってほしいです。（私は2人の息子がおりますが中学生頃にLGBTを教えました。当時Qはまだなかった。）</li> </ul>	50代 女性
<ul style="list-style-type: none"> <li>女性が仕事を続けるための施設充実のためにいろいろ対応をしていると思うが、対応をしている内容が本当に子どものために使用されているのかどうか疑問。仕事を続けていく中で、職場の上司が現場の話聞き入れずワンマンなやり方をして周囲を振り回すなど仕事への意欲がなくなる時にはどこに相談すればいいのかわからない。子どもへの対応はとても良いが、子どもが大きくなって高齢になった時にこの地域に住みたいと思えるような地域であるかどうかを考えてもいい。（例えば医療など。2ヶ月入院しその後病院を出るようと言われても安心して移動できる場所がない）</li> </ul>	50代 女性
<ul style="list-style-type: none"> <li>男女平等の社会を目指す事は大変良いことですが、一方女性の側にも改善しなければならないことがある。（意識改革）女性であることを盾にして都合の良い事、悪い事によって言動を変えたり、無責任な発言をしたり、行動をとる人もいる。メディアでもフェミニストと呼ばれる人達の中には好ましくない人物もあり、女性の被害が事実とは異なっているようにも思われる。声だかに掲げる人がいるのは問題。</li> </ul>	50代 女性
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育の場で教師の意識改革が必要。特に中学生あたりから教師の会話に産休をとった先生に対する態度を見て感じて子ども達が体感してしまう場面を見聞きました。また、男の先生が産休をとった時に他の先生方が「男なのに産休」というような事を言っていたと聞いた。多感な時期に教師のその様な態度を目の当たりにすれば男女平等と言うより男性優位と意識づけられる可能性が高いのでは。まずは幼少期から改革すべきで継続する事が大事。</li> </ul>	50代 女性
<ul style="list-style-type: none"> <li>男性だから女性だから、老人だからではなく、皆に等しく平等に思いやりをもって、接する社会になってほしい。</li> </ul>	50代 女性
<ul style="list-style-type: none"> <li>女性の管理職への登用や議員の登用を積極的に行う。</li> </ul>	60代 男性
<ul style="list-style-type: none"> <li>国が認めようとしていない。男女国会議員の意識の差がひどいと思う。</li> </ul>	60代 男性
<ul style="list-style-type: none"> <li>いまだに深く根付いてしまっている「男尊女卑」というものを、根本から叩き潰さぬ限り、表向きには改善されても（制度を設ける等）不公平感は無くせない。なぜなら、権力者、実力者ほど、その考えを有しているからである。そして、これらの輩の根性を改善させる事は不可能といっても言い過ぎではない。この「国民的悪習慣」とも呼べるものを改善させるとすれば、それをあまり期待出来ない大人に対して「罰則」をもって、そして子どもに対しては「義務教育」をもってあたるのがよろしいかと考える。とかく「罰則」というものに嫌悪感を抱く方々が多いが、今の日本人にはもはや性善説などあてはまらない。きちんと現実を見て対処しないと真の改善はあり得ない考えます。</li> </ul>	60代 男性
<ul style="list-style-type: none"> <li>クオータ制などある程度強制的な対応が必要。夫婦別姓や同性婚の早期実現を。</li> </ul>	60代 男性
<ul style="list-style-type: none"> <li>国として条約、勧告を実行する意思が明確になっていない気がします。具体的にどのように実行していくかなど、わかりやすい計画を出してほしいと思います。あらゆる分野で。</li> </ul>	60代 男性
<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的に私の考えでは、男女が平等になることはむずかしい。それぞれの特性を生かしながら役割を補う事が大切です。男女と決めつけず、得意な分野を出来る社会であると良い。</li> </ul>	60代 女性
<ul style="list-style-type: none"> <li>今行動を起こしている勇気ある若者の意見を尊重してほしい。男女平等について子どもたちがどのように考えているかディスカッションできる場があればいい。</li> </ul>	60代 女性
<ul style="list-style-type: none"> <li>元来の男社会が現在も根深く続いている。あと100年したら根本が変わる。</li> </ul>	60代 女性
<ul style="list-style-type: none"> <li>男女に関わらず一人一人が長所を生かし、欠点を直すようにしていく中で自然な形で調和されてくる事が望ましい。</li> </ul>	60代 女性
<ul style="list-style-type: none"> <li>御高齢の（とくに男性）方の古い感覚が政治等に影響を与えている気がします。</li> </ul>	60代 女性
<ul style="list-style-type: none"> <li>日本は家事を平等にと言っているのに、キッチンや調理器具は女性専用になっている。業者のパンフを見ても日本人女性の身長にあった、とか、女性が使いたいやすいとか。平等にやってほしいなら、キッチンの標準の高さももっと高くてもいい。いつの時代の高さなのか、あれでは男性が血洗いたくても腰が痛いんじゃないかと思う。女性がやるという体になっている事の改善。男女平等とは、男女が同じ事をするわけではないはず。女性も自分と同じ量の家事を男がやるべきと思っているところがある。女性と男性は、筋肉のつき方がちがいで、できる事が異なるので、一律同様にとは行かない。七五三も成人式も全てが平等ではない。これを平等にする必要もない。性の少数派が自分らも同様に婚姻し、保障を求めるのもおかしい話して、国は子を作れる人に保障すべきだ。国を残すための制度と思う。同性である限り不可能であり、そこに保障は不要。ついでに「歳だから」と何もしない老害は一線から退くべきだ。</li> </ul>	70代 男性
<ul style="list-style-type: none"> <li>議員や委員会の男女比率を50%に近づける。小学生の頃から、男女の区別をしない（女子は・・・男子は・・・といった言動をやめる）。諸外国の議場、委員会、インタビューでは、先進国だけではなく、開発途上国でも女性が前面に出る様子が見られる。日本人女性が能力が低いとは考えられない。</li> </ul>	70代 男性
<ul style="list-style-type: none"> <li>男女問わず実力があるものがリーダーになるべき。支援を充実するとよい。男子校、女子校と区別するのは平等ではない。</li> </ul>	70代 男性

## 男女平等についての意見

32 要望・意見	
・理想としては必要性が高いが、現実としては難しい。じっくり、ゆっくり、あせらず、社会改革を進めてください。	70代 男性
・政治～男女平等と言うが男性の本心は本音は。口先ばかり。	70代 女性
・差別のない社会「共生」	70代 女性
・外国では女性が重要なポストについて堂々と働いている。優秀な女性も沢山いる。女性にチャンスを与えてほしい。	70代 女性
・日本は男社会が常識になっている。親も男の子に家事をさせない。	70代 女性
・男性なりの考え方、女性なりの考え方があり、一言で表すには難しい問題。一個人一女性として、思うことは、女性に課せられている問題が多くあること。まだまだ社会のサポートが足りていない。女性が安心して働けるような環境作りを推進していただけるような市制のあり方を強く願っています。	70代 女性
・組織に3割女性がいないと平等は実現できないので、クォーター制を導入する必要がある。男性の意識改革が必要。教育・職場すべての場において、行政の問題提起が必要。LGBTQに関しては、室蘭市も早急にパートナーシップ制度の導入が必要。	70代 女性
・今の時代、何でもカンでも男女平等を言いすぎ。あまりにもお金のことを言いすぎ。	70代 女性
・会社で男女格差を味わった。お茶出しなど。女性は男性と肩を並べることができない。	70代 女性
・自分自身の心の参画。心の努力。男女平等理解の精神。他の人々にあたたかな心があるか。必要なことは、現状で他の仲間達へ手を貸す態度が出来るかです。	80代 男性
・政治改革（選挙制度の見直し、定数削減、男女比率5：5、役人も男女比平等に。）	80代 男性
・以前からラジオのSTVで毎週土曜日9時半からレインボーという番組でパーソナリティのケンタ（通称おかま）が男女平等参画についての社会参加について話しているのが面白く聴いていました。今回も参考になりました。	80代 男性
・新聞、テレビニュースにて、釧路の病院で看護師さんが上司からのパワーハラスメントを受けて精神疾患を起こし自殺したのを見て、室蘭の看護師さんも札幌のの病院で同じようにパワハラ、虐めを受け、精神疾患起し自殺した。	80代 男性
・今後ますますの女性参画を望みます。	80代 女性
・大変なお仕事ですね。無理しないで頑張ってくださいね。	80代 女性



# まとめ

## 調査のまとめ

### I.回答者の特性について

- 対象者については、世論調査等の標本調査で一般的に用いられる方法により、本市の人口に対する対象数として1,500人を対象者数として調査を行った。（男女年齢別の人口比による）
- 回答率については前回調査と比較して6ポイント減少しているが、20代～50代の子育て世代の割合が上昇している。

### II.就労について

- 男女ともに結婚しても女性は働くという意識をもっている人が多い。
- 女性が仕事を続けてく上で、「家庭と仕事の両立が大変」という意見が多くあり、育児・介護休業制度の充実や男性が育児や介護に関わる意識の向上が課題。
- 育児、介護休業の取得について賛成が多いが現実的には取りづらいという意見が多く、今後、社会全体で男性の制度利用促進が課題。
- 育児介護休暇制度を取得しづらい職場環境が課題となっており、職場での制度への理解促進が求められている。
- 男性の育児・介護への介入の意識が求められている。
- 女性の働きやすい環境を作るためには、男性が育児・介護への参加や職場での女性の労働条件の向上が課題。

### III.家庭生活について

- 性別的役割分担の意識は男女ともに低くなっており、固定的性別役割分担に囚われない考え方が増えてきている。
- 子育てする上で、男女区別して育てた方がよいと考えてる人がいる一方、男女区別せずに子育てしたいという回答も多く、多様な生き方の社会への理解促進が進んでいる。
- 男女ともに家事・育児を分担して行う意識が多い。
- 子育て・介護・地域活動に積極的に参加していくためには、家族間でのコミュニケーションが必要だが、職場内での体制の充実も重要視されている。

### IV.人権について

- 「セクハラ」や「ストーカー」の人権侵害という意識が高い。また、現在メディアで話題となっている婚姻・戸籍の制度からくる差別について、人権侵害という意識が高くなっている。
- DVの相談窓口として警察以外の窓口があまり認知されてない。
- DV（ドメスティックバイオレンス）は関心が高くなっている一方、被害は増えている。
- どこに相談すればわからないという人もおり、相談窓口の周知が行き届いてない。
- セクシャル・ハラスメントはメディアで取り上げられることが増えているが、未だに被害者が出ていない。
- 被害者支援としては、法律・制度などの厳罰化を望む。
- 性的少数者といった言葉はメディアで取り上げられることが増えており、関心が高い。又、社会的な理解が必要なことから、多様性についての教育が重要視されている。

### V.男女平等参画社会の実現について

- 現代でも男性優位な組織運営になっている。
- 女性は、男性の家事・育児参加を望んでいる。
- 行政に望むところは多岐にわたるが、仕事と家庭の両立を支援する体制の整備が望まれている。